

令和 5 年度第 3 回第 9 地区教科用図書採択教育委員会協議会議事録

1. 期 日

令和5年8月2日（水曜日）

2. 場 所

北見市端野町公民館 多目的ホール

3. 出席委員

大空町教育委員会	教 育 長	関 谷 正 樹
美幌町教育委員会	教 育 長	矢 萩 浩
津別町教育委員会	教 育 長	今 野 幸 彦
斜里町教育委員会	教 育 長	野 呂 田 成 人
清里町教育委員会	教 育 長	岸 本 幸 雄
小清水町教育委員会	教 育 長	加 藤 友 幸
訓子府町教育委員会	教 育 長	林 秀 貴
置戸町教育委員会	教 育 長	平 野 毅
佐呂間町教育委員会	教 育 長	谷 川 敦
遠軽町教育委員会	教 育 長	河 原 英 男
湧別町教育委員会	教 育 長	阿 部 勉
滝上町教育委員会	教 育 長	奥 田 直 美
興部町教育委員会	教 育 長	畑 山 研 二
西興部村教育委員会	教 育 長	飯 束 亨
雄武町教育委員会	教 育 長	豊 田 通 敏（欠席）
	課 長 補 佐	渡 部 憲 一（代理）
北見市教育委員会	教 育 長	武 田 雅 弘
網走市教育委員会	教 育 長	岩 永 雅 弘
紋別市教育委員会	教 育 長	牧 野 昌 教

4. オホーツク教育局

オホーツク教育局教育支援課課長 田 中 智 則

5. 事務局員

北見市教育委員会学校教育部次長	高 谷 ひかる
北見市教育委員会学校教育部学校教育課長	大 関 良 隆
北見市教育委員会学校教育部指導室主幹	加 藤 智 子
北見市教育委員会学校教育部学校教育課学校教育係長	上 家 悠 輔

6. 会議に付した議題

- （1）令和6年度から使用する第9地区教科用図書の採択にかかわる情報公開の取り扱いについて
- （2）令和6年度から使用する第9地区教科用図書の採択について
 - ①小学校教科用図書及び小・中学校特別支援学級教科用図書（一般図書）に係る小委員会からの報告並びに採択決定協議について

7. 議 事

午前9時50分 開会

(1) 令和6年度から使用する第9地区教科用図書の採択にかかわる情報公開の取り扱いについて

高谷事務局長より、議案3ページにより説明

- ①令和2年度に実施した情報公開と同様の方法で実施すること
- ②請求期間について、令和5年9月1日から開示すること
- ③取扱要領の施行日を、令和5年8月2日とすること
- ④協議会終了後、各市町村教育委員会で教科書を採択した後に、採択結果や理由、協議会の議事録及び調査研究資料などをホームページに掲載するなど、積極的に情報公開を行うこと

全員異議無く、説明どおり了承

(2) 令和6年度から使用する第9地区教科用図書の採択について

①小学校教科用図書及び小・中学校特別支援学級教科用図書（一般図書）に係る小委員会からの報告並びに採択決定協議について

高谷事務局長より、小学校教科用図書及び特別支援学級教科用図書（一般図書）の採択に係る進行手順等に関して、次の3点を説明

ア. 採択の区分について

- i) 国語の科目については、国語と書写について別々に採択すること
- ii) 社会の科目については、社会と地図について別々に採択すること
- iii) 特別支援の科目については、不採択するもののみを決定すること

イ. 採択の順序について

議案と別に配付している会議日程に記載の順で行うこと

ウ. 採択の方法について

- i) 各調査委員会委員長からの調査研究報告を受けた後に委員長への質疑応答を経た後、委員長退席後に全会一致となるまで意見交換・協議をすること
- ii) 協議が調わない場合は、協議会規約第8条により「協議会役員で協議し、協議会会長が決定すること」とすること

全員異議無く、説明どおり了承

以降、委員長報告および採択決定協議

【国語（国語・書写）】

◆委員長報告

委員長／国語小委員会委員長、北見市立三輪小学校校長の秋山康則です。

国語小委員会は、9名の調査委員で、7月5日に開催された第1回調査委員会以降、道教委発行の「採択参考資料」等を参考にしながら、観点に従って調査研究を行ってきた。

初めに、東京書籍「新しい国語」について報告する。

発行者の特徴として、「取扱内容」と「使用上の配慮等」について申し上げる。

主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「学習の流れ」において学習課題を設定し、見通しをもたせることができるように工夫されている。例えば、第5、6学年では、登場人物の気持ちの変化について考えたことを伝え合ったり、複数の文章を関係付けて読み分かったことを整理するなど、考えを広げたり深めたりする活動などが取り扱われている。

「使用上の配慮等」については、第2～6学年において「言葉の力を集めよう」では当該学年で学習する単元と育成したい「言葉の力」を示すなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。

その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、教育出版「ひろがる言葉 小学国語」について報告する。

発行者の特徴として、「取扱内容」について、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「学習のてびき」において学習課題を設定し、見通しをもたせることができるように工夫されている。例えば、第3、4学年では、登場人物の気持ちの変化について想像しながら読んだり、大事な言葉や文に気を付けて要約しながら読んだりするなど、考えを広げたり深めたりする活動などが取り扱われている。

「使用上の配慮等」については、全学年において「ひろがる言葉」でどのような内容を学び、どのような言葉の力を身に付けるのかを示すなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。

その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

最後に、光村図書「国語」について報告する。

発行者の特徴として、「取扱内容」について、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「学習」において学習課題を設定し、見通しをもたせることができるように工夫されている。例えば、第1、2学年では、場面や登場人物の様子を想像しながら読んだり、文章を読んで分かったこと伝え合い、関連する本を選んで読んだりするなど、考えを広げたり深めたりする活動などが取り扱われている。「使用上の配慮等」については、第2～6学年において「国語の学びを見わたそう」で学習の進め方や当該学年で学ぶ言葉の力を示すなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。

その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

以上で、国語についての報告を終わる。

引き続き、書写について報告する。

初めに、東京書籍「新編 新しい書写」について報告する。

発行者の特徴として、「取扱内容」の、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「見つけよう」において学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「しょしゃのかぎ」を参考にして整った文字の書き方について考えたり、画の方向や間隔を確かめながら書いたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動ができるようになっている。

「使用上の配慮等」については、リーフレットや実験記録の書き方など、国語や他教科における学習と関連を図った教材を掲載したり、ものの形からできた漢字の話を掲載したりするなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。

その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、教育出版「小学書写」について報告する。

発行者の特徴として、「取扱内容」について、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「めあて」において学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「考える」を参考にして画の方向の違いについて考えたり、左はらいの方向の違いに気を付けて書いたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動ができるようになっている。

「使用上の配慮等」については、俳句や話合いメモの書き方など、国語や他教科における学習と関連を図った教材を掲載したり、視写の教材として国語の文学教材を掲載したりするなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。

その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

最後に、光村図書「書写」について報告する。

発行者の特徴として、「取扱内容」について、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「導入・理解」において学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、整った字の書き方について見付けたり、「たいせつ」を参考にして画の長さに気を付けて書いたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動ができるようになっている。

「使用上の配慮等」については、手紙や横書きの書き方など、国語や他教科における学習と関連を図った教材を掲載したり、日常とのつながりが実感できる教材を掲載したりするなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。

その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

以上で、書写の報告を終わる。

(報告終了)

◆質疑応答

会 長／国語の調査研究報告について質問等はないか。

Q ／思考力、判断力、表現力等を育成するための言語活動の設定について、各

者、どのような配慮がなされているか。

- A /思考力、判断力、表現力等を育成するための言語活動の設定については、各者に特徴があるが、教育出版は子どもの学びに必然性が高く、他教科や学校生活、社会に広がる内容を豊富に設定している。東京書籍は、他教科や日常生活に即し、子ども自らの生活と結び付けて取り組める内容を適切に設定している。光村図書は、児童の興味・関心や知的好奇心を喚起し、思考・判断・表現への意欲を高める内容を厳選して設定している。

- Q /学習の系統化や重点化を図る指導が求められているが、各者、どのような工夫がなされているか。

- A /学習の系統化や重点化を図る指導の工夫については、各者とも、単元の初めにこれまでに学習した内容を示すとともに、単元末の手引きの終わりに、単元で育成する資質・能力の内容について、光村図書は「たいせつ」、教育出版は「ここが大事」、東京書籍は「言葉の力」という表記で子どもがひと目で分かるよう、明示されている。

- Q /図書館の活用や読書活動の充実について、各者、どのような配慮がなされているか。

- A /図書館の活用については、各者とも、低学年から特設ページを設け、図書館の活用について学べるようになっている。また、子どもの読書活動を充実させるため、各者とも巻末付録などで多くの図書を紹介しており、紹介図書数は、教育出版で約540冊、光村図書で約530冊、東京書籍で約580冊となっている。

- Q /語彙の指導に関わり、児童が言葉を獲得して活用できるようにするために、各者どのような取り扱いとなっているか。

- A /語彙の指導については、各者とも、子どもが多くの言葉を習得し、自らの表現活動に活用できるように、教育出版は「言葉の木」、光村図書は「言葉の宝箱」、東京書籍は「言葉の広場」など、巻末に言葉を集めた教材を設定している。

- Q /教科横断的な指導について、各者、どのような取扱いがなされているか。

- A /教科横断的な指導については、各者とも、多様な観点から他教科との関連が図られるよう言語活動などが配置されている。具体的な言語活動としては、各者とも、意見文、記録文、報告文、新聞を書く、資料を提示して発表する。などが取り扱われている。

◆質疑応答

会 長／書写の調査研究報告について質問等はないか。

- Q /書写は毛筆と硬筆に分けられると思うが、目的に応じて筆記具を選び、その特徴を生かして書くことについて、各者、どのような取り扱いとなってい

るか。

- A /各者とも、特に第5学年において、それぞれの筆記具の種類と特徴について、図解入りで取り上げられている。各者とも、実際にポスターや新聞、手紙の例を考えさせることで、その実用性を実感できるように配慮されている。

特に教育出版と光村図書は、ポスターや手紙で心を伝えるための用具として丁寧な取扱いがなされている。

- Q /毛筆の指導における、硬筆の指導との関連について、各者、どのような配慮がなされているか。

- A /各者とも、毛筆書写で身に付けた字形や文字の組み立てなどが、硬筆書写の基礎を養う学習として繰り返し練習できるように位置付けられている。

- Q /日常生活や学習活動に活かすことのできる書写の能力を育成することについて、各者、どのような配慮がなされているか。

- A /各者とも、書写で学んだ基礎的・基本的な技能を、他教科や日常生活の中で活用できるよう、手紙や新聞記事、パンフレットを書くなど、様々な言語活動を盛り込む配慮がなされている。

(質疑応答終了)

◆意見交換・採択協議

会 長／引き続き、国語・書写の採択の審議に入る。

まずは国語から。

- 各者とも非常に工夫されている。なかでも光村図書はQRコードからドリルや朗読など多様な展開をしていたり、さらに他教科とも繋がりを明確にしている。とりわけ、短い文字から始めて、確実に書けるようにする。主語・述語・助詞・接続詞・書き順。わかりやすい説明を組み立てている。大事なポイントなど、基礎により重点を置き、それを丁寧に導くことで確実に身に付けさせる。また、さまざまな形態で話し合ったり、人の話をよく聞くこと。そのうえで話したことや想像をデジタル機器の利用を含めて、文字にし、完成した文書にすること。また、さまざまな題材から「気づき」、「考える」など、いま子供たちに求められる力を幅広く身に付けさせる学びができるようにまとめられているのが光村図書と感じた。

会 長／他の意見はないか。(なし)

これまでの審議の経過を踏まえて、国語は光村図書と決定することとしてよろしいか。(異議なし)

それでは、国語については、全会一致で光村図書の教科用図書を採択することと決定する。

会 長／引き続き、書写の採択の審議に入る。

- 国語とは活動内容や学習の目指す目標とは違うが、国語とのつながりが

深いことから連動性を考えると現在使用している光村図書がよいと考える。

会 長／他の意見はないか。(なし)

これまでの審議の経過を踏まえて、書写は光村図書と決定することとしてよろしいか。(異議なし)

それでは、書写については、全会一致で光村図書の教科用図書を採択することと決定する。

【社会（社会・地図）】

◆委員長報告

委員長／社会小委員会委員長の北見市立北光小学校校長の伊井俊明です。

社会科小委員会は、9名の調査委員で、7月5日に開催されました、第1回調査委員会以降、「教科書編成趣意書」、道教委発行の「採択参考資料」等を参考資料としながら、観点に従って調査研究を行った。

それでは、初めに3者の「社会科」教科用図書について報告する。

最初に、小学校社会科東京書籍「新しい社会」について、報告します。発行者の特徴として、「取扱内容」と「使用上の配慮等」の2点について申し上げます。

「取扱内容」の地域社会に関する内容については、第4学年において、風水害や地震等の自然災害から人々を守る活動について調べたり、文化財や郷土芸能、用水路の開発等、地域の発展に尽くした人々について調べたりする活動を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養うような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。

主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第3学年では、市の様子の移り変わりの学習において、学習問題を設定し、見通しをもたせるとともに、市の交通網の発達について調べたり、市の土地利用や暮らしの変化について話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりするような学習活動が取り上げられている。

「使用上の配慮等」については、第5学年の「寒い土地の暮らし」にかかわる学習において、北海道の農業や暮らしの工夫、札幌市の雪対策と雪を生かした観光について掲載するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。

その他の観点における調査研究結果は、報告書の記載にあるとおり。

次に、教育出版「小学社会」について、報告する。

「取扱内容」の地域社会に関する内容については、第4学年において、地震や津波、水害等の自然災害から人々を守る活動について調べたり、文化財や伝統芸能、新田開発等、地域の発展に尽くした人々について調べたりする活動を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養うような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。

主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第3学年では、市の様子の移り変わりの学習において、学習問題を設定し、見通しをもたせるとともに、市の交通網の発達について調べたり、市の土地利用

や暮らしの変化について話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。

「使用上の配慮等」につきましては、第5学年の「寒い土地の暮らし」にかかわる学習において、北海道の観光や農業、漁業、アイヌの人たちの文化について掲載するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。

その他の観点における調査研究結果は、報告書の記載にあるとおり。

最後に、日本文教出版「小学社会」について、報告する。

「取扱内容」の地域社会に関する内容については、第4学年において、風水害や地震、津波等の自然災害時における地方公共団体の働きや地域の人々の工夫、努力について調べたり、伝統芸能や文化財、用水路の開発等、地域の発展に尽くした人々について調べたりする活動を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養うような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。

主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第3学年では、市の様子の移り変わりの学習において、学習問題を設定し、見通しをもたせるとともに、市の交通網の発達について調べたり、市の土地利用や暮らしの変化について話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりするような学習活動が取り上げられている。

「使用上の配慮等」については、第5学年の「寒い土地の暮らし」にかかわる学習において、旭川市の農業や観光について掲載するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。

その他の観点における調査研究結果は、報告書の記載にあるとおり。

続いて、2者の「地図」について、報告する。

最初は、東京書籍「新しい地図帳」について報告する。

発行者の特徴として、「取扱内容」と「使用上の配慮等」の2点について申し上げる。

「取扱内容」については、各学年の目標が達成できるよう、「地図帳の使い方」を活用して、方位磁針を用いて身近な方位を調べたり、「日本の全図」において、日本の東西南北端を調べたり、都市と都市との間の距離を調べたりする活動が取り上げられている。

主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、日本列島全体の災害地図を掲載し、災害の起きる要因や防災対策について考察したり、日本と世界の歴史地図を掲載し、同時代の世界の様子を参照しながら学びを深めたりする工夫がなされている。

「使用上の配慮等」については、キャラクターが地図の基本を解説したり、「ホップ↑ステップ↑マップでジャンプ↑」を設けたりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。

その他の観点における調査研究結果は、報告書の記載にあるとおり。

最後に、帝国書院「楽しく学ぶ小学生の地図帳」について報告する。

「取扱内容」については、各学年の目標が達成できるよう、「地図帳の使い方」において、方位や地図記号などを用いた宝探しに取り組んだり、「日本の全図」において、富士山がある県を調べたり、東北地方の大きな祭りや

伝統行事を調べたりする活動が取り上げられている。

主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、雪の多い都市の工夫を示した札幌市中心部の地図で学習意欲を喚起したり、キャラクターの吹き出しで児童の興味・関心を高めたりすることで、児童が見通しをもって学習問題の解決に取り組むことができる工夫がなされている。

「使用上の配慮等」については、「防災マップ」の具体的な作り方を掲載し、自らの身を守るために何ができるかを考えたり、比較・関連させて考察できる資料を掲載し、社会的な見方・考え方を働かせたりする工夫がなされている。

その他の観点における調査研究結果は、報告書の記載にあるとおり。

以上で、社会科について報告を終わる。

(報告終了)

◆質疑応答

会長／社会の調査研究報告についてご質問はないか。

Q ／社会科において調べたいことや考えたことをもとに自分の言葉で表現する活動を充実させることが求められているが、このことについて、各者どのような配慮がなされているか。

A ／各者とも社会科の学習を進めていく上で必要な、基礎的・基本的な技能を、学習の流れに即して身に付けていくため、「学びのてびき」(学び方コーナー)を設けている。この、「学びのてびき」の中で、教育出版は「表す」、東京書籍は「表す・伝える」、日本文教出版は「表現する」という項目で配置されている。各者、「学びのてびき」の配置数は、単元数の20前後となっている。

Q ／新学習指導要領では、主体的、対話的で深い学びの実現が求められているが、各者このことについてどのように取り扱われているか

A ／各者、単元の学習問題を設定し、児童に見通しをもたせ、「社会的な見方・考え方」を働かせて問題解決的な学習を進め、様々な方法でまとめる場面を設定することで、主体的、対話的で深い学びが実現するよう単元を構成している。また、教科書の巻頭や各ページに、学習の進め方を例示したり、「見方・考え方」の視点や方法を示したりするようにしています。教出・日文においては巻頭部分に、東書は冊子前半に「学習の進め方」を提示し、主体的な学びを進める手立てを講じています。

Q ／ICTの活用が求められているが、各者どのような活用ができるように工夫されているのか。

A ／ICTの活用については、前回の教科書から大きく変わっており各者、コンピュータの使い方について示すとともに、二次元コード(QRコード)を配置することで、児童の興味や関心を高め、より発展的な学び、個に応じた

学びにつながるような工夫が見られる。日文は、「教科書デジタルコンテンツ」として、二次元コードの活用について紹介している。教育出版については、「タブレット型コンピュータを生かそう」として、タブレット型コンピュータの活用の仕方を示すとともに、「まなびリンク」にて、二次元コードの活用について示している。東京書籍は、「コンピュータを学習に生かそう」として、二次元コード、デジタルコンテンツについて、紹介している。

◆質疑応答

会 長／次に地図に関する調査研究報告について質問はないか

Q ／地図が３年生から配布されるようになったが、３年生が使用するにあたって、各者、どのように取り扱われているのか

A ／３年生から取り扱うことになり、各者、とも巻頭にイラストを多めに入れた世界地図を掲載し、地図への親しみがもてるように工夫している。

また、３年生の「市町村の様子」の学習に対応し、初めて地図の概念をつかむとともに、学校周辺から市の全体の様子へ視点を広げていくページ、地図の使い方や約束事のページなども設定されている。

Q ／教科等の横断的な活用が求められているが、地図においては、各者どのように取り扱われているのか

A ／各者とも、具体的にどの教科と横断的な活用について配慮され、東京書籍では、外国語活動や国語科、算数科、理科、音楽科、道徳で、活用される場面が紹介され帝国書院では、外国語活動や国語科、算数科、理科、道徳、家庭科などでも活用できるように紹介されている。

Q ／ICTの活用が求められているが、各者どのような活用ができるように工夫されているのか。

A ／ICTの活用については、各者、二次元コード（QRコード）を配置することで、興味や関心を高め、より発展的な学び、個に応じた学びにつながるような工夫が見られる。帝国書院ではQRコードを使おうとしていて、東京書籍では、デジタルコンテンツとして二次元コード、デジタルコンテンツについて紹介している。私たちも実際に二次元コードを使ってみたが今まででは信じられないような、映像が見られたり、どの本にも映像があり、子供たちの興味関心をひく内容になっている。

（質疑応答終了）

◆意見交換・採択協議

会 長／引き続き、社会・地図の採択の審議に入る。

まずは社会から。

● 各者とも、学習意欲を高め、主体的に学習に取り組む工夫が見られる。

各者とも非常に丁寧な内容の構成、排列等工夫がされている。教育出版は、見通しと振り返りの学習に取り組みやすいこと。身近な地域から社会を考えることができる教材内容となっており、課題解決に取り組む内容が充実していることから、教育出版が良いと思う。

- 教育出版がいいと考える。小学校から中学校までの学びの繋がり、これを意識した内容の構成の印象を受ける。グラビア資料などを含めて、より子供たちが学習意欲を引き出す工夫が随所にみられる。例えば、明治・大正期の白黒写真をカラー補正して掲載することで、より現実感が増すような工夫がされている。一人一台端末の活用ではQRコンテンツが非常に充実していて、とても使いやすく工夫されている。総合的に考えると教育出版が良い。

会 長／他の意見はないか。(なし)

これまでの審議の経過を踏まえて、社会は教育出版と決定することとしてよろしいか。(異議なし)

それでは、社会については、全会一致で教育出版の教科用図書を採択することと決定する。

会 長／引き続き、地図の採択の審議に入る。

- 地域の特色が捉えやすく、地形、表現により地域の生活や産業の特色をつかむこと、防災、領土の資料が充実しており地域の防災を考えられること、さらに鳥瞰図等により歴史や公民など多目的に活用できることを評価して帝国書院が良いと思う。帝国書院は「地図マスターへの道」として100問の豊富な問いを掲載しており教科横断的な学習や家庭学習への活用が期待できる。北海道アイヌ語地名を12箇所を地図上に示して紹介。東京書籍は7か所で文字のみ。アイヌの人たちの歴史・文化等取り上げているページ数は帝国書院は9、東京書籍は6。北方領土に関する内容の箇所は、帝国書院が16、東京書籍が13。北海道に関わりのある内容を取り上げている箇所は帝国書院が43、東京書籍が37。自然災害、防災に関する内容を取り上げているページは帝国書院が21、東京書籍が12。以上から、北海道関連事項の多さもよいと思われる点で帝国書院がよいと思う。

- 帝国書院が良いと思う。地図で一番大事なところは見やすさ。見やすさの工夫が優れている。記号のデザインやレイアウトの統一感が図られている。パッと見て、目に優しくて、明るくて見やすい地図帳だと思う。構成、排列等においても大変バランスが取れている。3～6年生の4年間、子供たちにとって、親しみを持って主体的に学べる地図帳として帝国書院が良いと思う。3年生から学ぶので地図帳の使い方、地図の決まり事を冒頭14ページに渡って説明している。導入の部分も丁寧な作りをしていることから、帝国書院が良いと思う。

会 長／他の意見はないか。(なし)

これまでの審議の経過を踏まえて、地図は帝国書院と決定することとしてよろしいか。(異議なし)

それでは、地図については、全会一致で帝国書院の教科用図書を採択することと決定する。

【算数】

◆委員長報告

委員長／算数小委員会委員長の湧別町立中湧別小学校校長の早川大介です。

算数小委員会は、8名の選定委員で、7月5日に開催された第1回調査委員会以降、「教科書編集趣意書」、道教委発行の「採択参考資料」等を参考資料としながら、観点に従って調査研究を行ってきた。

初めに、東京書籍「新しい算数」について報告する。発行者の特徴として、「取扱内容」と「使用上の配慮等」の2点について申し上げる。

「取扱内容」については、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応について、例えば第5学年では、立体図形の体積の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、考えを図や式を使っていかいたり、考えの相違点について話し合い、まとめたりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動が取り扱われている。

「使用上の配慮等」については、「つないでいこう算数の目」や「算数マイノートを学習に生かそう」で、発展的な視点で示したり、「ますりん通信」で、多方面からの話題や見方・考え方などを取り上げたりするなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。

その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、大日本図書「たのしい算数」について報告する。発行者の特徴として、「取扱内容」と「使用上の配慮等」の2点について申し上げる。

「取扱内容」については、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応について、例えば第5学年では、平面図形の性質の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、図や式、言葉を使って考えを筋道立てていかいたり、考えの共通点について話し合ったりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動が取り扱われている。

「使用上の配慮等」については、単元の導入コーナーで、問題や疑問を見いだす題材を扱ったり、「ふくろう先生になるほど算数教室」で、算数を生かして仕事をする方へのインタビューを掲載したりするなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。

その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、学校図書「みんなと学ぶ小学校算数」について報告する。

発行者の特徴として、「取扱内容」と「使用上の配慮等」の2点について申し上げる。

「取扱内容」については、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応について、例えば第5学年では、異種の二つの量の割合の学習にお

いて、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、速さの意味を考えたり、速さを比べる方法について話し合ったりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動が取り扱われている。

「使用上の配慮等」については、「考え方モンスター」を紙面に具現化することで、「見方・考え方」を使った思考を促し、「算数をつかって」でSDGsに関連した題材に取り組むことができるようにするなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。

その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、教育出版「小学算数」について報告する発行者の特徴として、「取扱内容」と「使用上の配慮等」の2点について申し上げる。

「取扱内容」については、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応について、例えば第5学年では、異種の二つの量の割合の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、混み具合を比べる方法を考えたり、考えの相違点について話し合ったりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動が取り扱われている。

「使用上の配慮等」については、目的意識をもって取り組める教材や活動を示す「きっかけ」ページを設けたり、各単元の終わりに学習したことを使って取り組む活動を示すページを設けたりするなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。

その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、啓林館「わくわく算数」について報告する。

発行者の特徴として、「取扱内容」と「使用上の配慮等」の2点について申し上げる。

「取扱内容」については、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応について、例えば第5学年では、小数の乗法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、計算の方法を考えたり、考えのよいところや共通しているところについて話し合ったりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動が取り扱われている。

「使用上の配慮等」については、「学びをいかそう」で算数を学ぶ意義が感じられる題材を取り扱ったり、「わくわくSDGs」で答えが1つに定まらない問いを取り上げたりするなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。

その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、日本文教出版「小学算数」について報告する。

発行者の特徴として「取扱内容」と「使用上の配慮等」の2点について申し上げる。

「取扱内容」については、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応について、例えば第5学年では、立体図形の体積の学習において、考えを図や式、言葉を使って書いたり、考えの共通点や相違点、これまで学習したこととの類似点などについて話し合ったりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動が取り扱われている。

「使用上の配慮等」については、単元アプローチとして、学習の課題を自

ら見つけられるようにしたり、「なるほど算数」で算数に関する豆知識的なコラムを掲載したりするなど、児童の学習意欲が高まるように工夫がされている。

その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

以上で、算数小委員会の報告を終わる。

(報告終了)

◆質疑応答

会長／算数の調査研究報告について質問等はないか

Q ／算数としての系統性を重視する観点から、既に学習した事柄を振り返ったり、思い起こさせたりする場面の位置づけが重要であると考えているが、この点について、各者、どのような工夫がなされているか。

A ／系統性について既習事項の振り返りや思い起こさせるための工夫については、東京書籍では、目次に各単元の前後に「前の学習」「後の学習」として、既習事項とのつながり、今後の学習とのつながりが明示されている。また、単元冒頭の「単元プロローグ」における既習を振り返り学習課題をつくる活動、問題解決の過程における既習とのつながりへの着目を促す吹き出しや補助発問などを用意している。大日本図書では、目次に各単元の前後に「前の学習」「後の学習」として既習事項とのつながり、今後の学習とのつながりが明示されている。また、単元によっては、「ふりかえろう」というページが用意されている。学校図書では、学習を統合的に見ることができるようにするための「ふりかえろう つなげよう」というページを用意。また、次の学びにつながる吹き出しを取り入れている特徴がある。教育出版では、系統を意識して学べるように巻末に既習事項が一覧となった「学びのマップ」を用意し、関連する内容を適宜確認できるようになっている。また、作図や算数用具の使い方も繰り返し学び直せる「学びの手引き」といったページが用意されている。啓林館では、目次に各単元の前に「これまでに学んだこと」、巻末に「学びをつなげよう」が用意され、既習事項とのつながりが明示されている。また、毎単元、レディネスチェックのために「じゅんぴ」というページが用意されている。日本文教出版では、新しい単元での学習内容と関連の深い既習事項を確認できるように「次の学習のために」というページを用意。また、学年末の「ふくしゅう」では、各単元で出てきた「見方・考え方」を総合的に見つけ直し、今後の学習につながる問題が設定されている。各者とも各単元の前後に系統性が示されており、つまづき等において、どの段階でふりかえればよいのかわかるよう工夫されている。

Q ／数学的活動について子供が目的意識をもって主体的に取り組む「数学的活動」について、各者、どのような配慮がなされているか。

A ／数学的活動について東京書籍では、数学的活動を可視化した「今日の深い学び」というページ。大日本図書では、見方・考え方を発見し活用する「ひ

らめきアイテム」というページが用意されている。学校図書では、自ら問題を見つけ見通しをもつ問題発見の場面がイラストで提示されている「発見」というページ、さらに数学的な見方・考え方を身に付けるために「考え方モンスター」というキャラクターを設定されている。教育出版では、目的意識を持って数学的活動に取り組むための単元導入「どんな学習がはじまるかな？」のページのほか、問いの連続でつくる数学的活動として、各ページに子供の問いからはじまり、学びを深める問い、見方・考え方、そこから新たな問いが生まれるよう工夫されている。啓林館では、各単元の既習事項の定着を図る「とびらページ」や「じゅんぴ」というページ。更に数学的活動をより豊かにする特設単元を設けてある。日本文教出版では、学習したことを生活の場面に活かし、算数の楽しさや意義を実感するよう工夫された内容になっている。各者、単元ページにすぐに入るのではなく、日常の事象などから問題を発見し、目的意識をもって数学的活動に取り組むための工夫がされている。

Q / G I G A スクール構想の推進により 1 人 1 台端末環境での授業が当たり前となってきた。I C T のよさを生かした深い学びの実現が重要と考えるが、各者、この点についてどのような取扱いとなっているか。

A / G I G A スクール構想における I C T として東京書籍では、動画コンテンツとして単元導入前に学習動機を創出するオープニングムービーや、繰り返し確認したい計算の仕方や数直線の図のかき方など用意されている。練習問題等の演習コンテンツには、自動正誤判定や結果の記録機能なども用意され、個別最適化された学びの支援ができるよう工夫がされている。大日本図書では、動画コンテンツ、操作コンテンツ、振り返りコンテンツ、練習問題コンテンツ、記録用紙など単元の内容によってさまざまな種類のコンテンツを用意されている。プログラミング教育に対応したページも全学年設けてある。

学校図書では、教科書で学んでいく際に役立つデジタルコンテンツを用意されている。また、プログラミング思考を身につけるため、全学年に「プログラミングのプ」のページを用意している。また、端末を使用しなくてもプログラミング的思考が育めるよう切り取って使える付録を用意し、手を動かして試行錯誤を繰り返し体験できるような工夫がなされている。教育出版では、「まなびリンク」として、まとめアニメーション、作図測定手順動画、シミュレーション、更にプログラミング教材が用意され、子供の理解力を深めるとともに、授業づくりにおける教師の負担軽減にもつながる工夫がなされている。また、表計算ソフトが用意され、データ等をいろいろなグラフに表す活動を扱い、情報処理能力が育成できるよう工夫がなされている。啓林館では問題解決に I C T が活用できるよう、シミュレーションの Q R コンテンツが用意され、具体物の操作では時間のかかる活動も簡単に行えるよう工夫がされている。また、「わくわくプログラミング」のコーナーを設け、プログラミング体験を通して数の見方・考え方が深まるよう工夫がされている。日本文教出版では、学習をふりかえるコンテンツ、理解を深めるコンテンツを中心に用意している。「レッツプログラミング」のページを設け、プログ

ラミングと日常生活を結びつけて取り組むことができるよう工夫がされている。各者、教科書のあらゆるところにQRコードが配置され、授業中の自力解決や集団解決、習熟のための演習、家庭学習などシーンを選ばず活用できるQRコンテンツが用意され、個別最適な学びの実現へも対応できるようになっている。

(質疑応答終了)

◆意見交換・採択協議

会 長／引き続き、算数の採択の審議に入る。

● 各者とも学習指導要領の総則や算数科の各学年の目標を達成できるよう工夫された学習活動で構成されていると思う。その中でも教育出版は全学年を通じて学習意欲を高め、主体的に学習に取り組めるよう子供の問いの連続による学びのサイクルを位置づけ主体的・対話的で深い学びの授業展開を実現しているほか、学習内容が系統的、発展的に構成・排列されている。さらに学年の分量も適切で、学校や生徒の実態に応じて弾力的に指導ができるよう工夫されているほか、ユニバーサルデザインの採用、さらには一人一台端末を活用してわかりやすく学習を支援する配慮がなされている。このことから教育出版が優れていると思う

● 教育出版が良いと思う。理由としては、教育出版では数学的な活動を通じて、思考力・判断力・表現力が身につく内容となっている。また、まとめや振り返り、既習が確かめられ、基礎・基本の定着、発展の問題が多く用意されている。さらには学力調査に課題が見られる内容については考えられるヒントをもうけ、学年を超えた学び直しなど、児童の状況に合わせて、主体的に学習できるように工夫されているなどから、教育出版が良いと思う。

会 長／他の意見はないか。(なし)

これまでの審議の経過を踏まえて、算数は教育出版と決定することとしてよろしいか。(異議なし)

それでは、算数については、全会一致で教育出版の教科用図書を採択することと決定する。

【理科】

◆委員長報告

委員長／理科小委員会委員長、網走市立西が丘小学校 校長 小路谷 勝巳です。

理科小委員会は7名の調査委員で、7月5日に開催された、第1回調査委員会以降、「教科書編集趣意書」、道教委発行の「採択参考資料」等を参考資料としながら、観点に従って調査研究を行ってきた。

初めに東京書籍「新しい理科」について報告する。

「取扱内容」について、物質・エネルギーでは、粘土やアルミニウムはくの形を変えて重さを調べる実験や、人感センサーを利用した電気自動車を作るものづくりの活動を通して、問題解決の力を養うことができるようになっている。また、生命・地球については、物を持ち上げたときの体の様子を調べる観察や、水量を変え流れる水の働きを調べる実験などの活動を通して、問題解決の力や生命を尊重する態度を養うことができるようになっている。

「使用上の配慮」については、「理科の世界」において、働く人のインタビュー形式のコラムを掲載し、理科を学ぶ意義を実感できるよう工夫がされている。また、問題解決の過程を線でつなぎ学習の流れに見通しをもたせたり、単元末において、学習前後での自分の成長を実感できるよう振り返りを掲載したりするなど主体的に学習に取り組むことができる工夫がされている。

その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に大日本図書「たのしい理科」について報告する。「取扱内容」について、物質・エネルギーでは、粘土やアルミニウムはくの形を変えて重さを調べる実験や、モビールやさおばかりを作るものづくりなどの活動を通して、問題解決の力を養うことができるようになっている。また、生命・地球については、体全体の筋肉の様子を調べる観察や、流す水の量を変えて流れる水の働きを調べる実験などの活動を通して、問題解決の力や生命を尊重する態度を養うことができるようになっている。

「使用上の配慮」については、「りかのたまてばこ」において、科学技術との関連を取り上げ、理科を学ぶ意義を実感できるよう工夫がされている。

また、問題解決の過程を8段階で示し学習の流れに見通しをもたせたり、単元末においてできるようになったことなどの振り返りの視点を掲載したりするなど主体的に学習に取り組むことができる工夫がされている。

その他の観点における調査研究結果は報告書に記載の通り。

次に学校図書「みんなと学ぶ 小学校理科」について報告する。

「取扱内容」について、物質・エネルギーでは、粘土の置き方や形を変えて重さを調べる実験や、風車を利用した風力発電機を作るものづくりなどの活動を通して、問題解決の力を養うことができるようになっている。また、生命・地球については、腕を曲げたときの筋肉の様子を調べる観察や傾きを変えて流れる水の働きを調べる実験などの活動を通して、問題解決の力や生命を尊重する態度を養うことができるようになっている。

「使用上の配慮」については、「もっとしりたい」において、暮らしや仕事との関連を取り上げ、理科を学ぶ意義を実感できるよう工夫がされている。

また、問題解決の過程をチェックして学習の流れに見通しをもたせたり、単元末において、学習の前後の変容を確かめるよう振り返りの視点を掲載したりするなど主体的に学習に取り組むことができる工夫がされている。

その他の観点における調査研究結果は報告書に記載の通り。

次に教育出版「未来をひらく 小学校理科」について報告する。

「取扱内容」について、物質・エネルギーでは、粘土や新聞紙の形を変えて重さを調べる実験や、夜になると光るライトを作るものづくりなどの活動

を通して、問題解決の力を養うことができるようになっている。また、生命・地球については、腕や脚を動かすときの筋肉の様子を調べる観察や、水量を変えて流れる水の働きを調べる実験などの活動を通して、問題解決の力や生命を尊重する態度を養うことができるようになっている。

「使用上の配慮」については、「科学のまど」において、学んだことと関連した身の回りの話題を紹介し、理科を学ぶ意義を実感できるよう工夫がされている。また、問題解決の過程を線でつなぎ学習の流れに見通しをもたせたり、単元末において、学習前後での自分の成長を実感できるよう振り返りを掲載したりするなど主体的に学習に取り組むことができる工夫がされている。

その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に啓林館「わくわく理科」について報告する。

「取扱内容」について、物質・エネルギーでは、粘土や画用紙の形を変えて重さを調べる実験や、でんぷんやさおばかりを作るものづくりなどの活動を通して、問題解決の力を養うことができるようになっている。また、生命・地球については、体を動かすときの筋肉の様子を調べる観察や、曲がって流れる水の外側と内側の様子調べる実験などの活動を通して、問題解決の力や生命を尊重する態度を養うことができるようになっている。

「使用上の配慮」については、「くらしとリンク」において、身近な生活との関連を取り上げ、理科を学ぶ意義を実感できるよう工夫がされている。

また、問題解決の過程を線でつなぎ学習の見通しをもたせたり、単元末において、学習の振り返りとして新しく学習した言葉を掲載したりするなど主体的に学習に取り組むことができる工夫がされている。

その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

以上で、理科小委員会の報告を終わる。

(報告終了)

◆質疑応答

会 長／理科の調査研究報告についてご質問はないか

Q ／小学校の理科学習は実験、観察などの導入により五感をとおして科学的な見方、考え方を養っていくことが大切になってくるとおもうが、実験観察を重視した学習を進める際の事故防止について各者どのような配慮をしているのか。

A ／各者、巻頭・巻末・裏表紙などで、実験・観察の際の安全や理科室での正しい学の仕方などについて取り上げている。例えば第3学年の「太陽と地面の様子」では太陽を見るときは必ず遮光板を使う、5年生の「物の溶け方」では薬品が目に入らないよう保護めがねをかける、など、各社ともそれぞれの実験ごとに注意喚起を促すマークや囲みで記載をし、注意を促している。

Q ／農業 SDGs について 2030 年までの交際農業先進国の取り組みを日本として

積極的に取り組んでいるがSDGsについて子供たちが自分に出来ること。実践できること考えることについて各者どのように記載されているか。

A /各者、巻頭・巻末・裏表紙や單元ごとのコラムでSDGsについて取り上げたり、アイコンを設定して目につきやすくするなどの工夫をしている。環境の変化を自分の生活とつなげて考えるなど、持続可能な社会づくりへの意識を高められるような作りになっている。また、各者とも第6学年の最後の単元で「生物と環境」について学ぶよう排列されており、そこでSDGsについて考えを深められるよう構成されている

Q /台風・地震・火山の災害が発生しているが、災害のメカニズムを学ぶことにより対応する理解や対応力を向上させることが重要だと思うがどのように工夫がされているか。

A /各者とも、第4学年「雨水の行方と地面の様子」においては大雨による災害について、第5学年「流れる水の働きと土地の変化」では洪水の様子や備えについて、「天気の変化」では台風の被害について、第6学年「土地の作りと変化」においては地震・火山・津波などの被害や備え及び命を守る行動について、日常生活とのつながりを意識しながら学ぶことができるよう構成されている。また、各者とも、防災のページにQRコードを配置し、映像や資料等を用いて学習できるよう配慮されている。

Q /科学の基本的な原理、自然現象、生物のしくみなどを学ぶことによって日常生活で遭遇する様々な現象を理科に応用する能力を身に着けるため、どのような工夫がされているか。

A /各者、日常生活と学習内容を関連させ、理科の面白さや有用性を感じられるように理科の学びを身の回り現象と結び付けて紹介している。単元の導入場面や予想を立てされる場面などでは、既習や生活経験を想起させることができるよう配慮されている。また、各者とも、学んだことをそのままにするのではなく日常生活で理科の有用性を実感し、積極的に生活との関連を図られるよう、単元末にコラムや資料を掲載したり、身の回りでの活用例を紹介したりするなど工夫がなされている。

(質疑応答終了)

◆意見交換・採択協議

会長／引き続き、理科の採択の審議に入る。

- 調査研究報告書や、他の参考資料から、各者とも問題解決の流れが明確であり、問題を見だし、観察、実験、考察、結論へと繋げていく仕掛けが随所にあり、見通しをもって主体的に学びを進めていく工夫がされていると思う。実験、観察の際の事故防止についての配慮やSDGsに関する記載、防災・減災について、日常生活の関連などについて、総合的に判断すると東京書籍が優れていると思う。

● 東京書籍が良いと思う。各者とも学習意欲を高めて、主体的に学習に取り組む工夫が見られているが、中でも東京書籍は、全学年において、働く人へのインタビュー形式、コラムを掲載して、理科を学ぶ意義を実感できるようにするような工夫がある。各単元で貼付されている写真やイラスト等は、他社と比較して適切かつ豊富に配置されている。また、問題解決のサポートとして活用できるデジタルコンテンツも豊富に掲載されており、個別最適な学びや共同的な学びは実践できるように配慮されていることから、東京書籍が優れていると思う。

会 長／他の意見はないか。(なし)

これまでの審議の経過を踏まえて、理科は東京書籍と決定することとしてよろしいか。(異議なし)

それでは、理科については、全会一致で東京書籍の教科用図書を採択することと決定する。

(昼食休憩)

【生活】

◆委員長報告

委員長／生活小委員会委員長の大空町立東藻琴小学校長の大西 篤です。

生活小委員会は、6名の調査委員で7月5日に開催されました第1回調査委員会以降、6者の教科用図書について「教科書編集趣意書」、道教委発行の「採択参考資料」等を参考としながら、調査研究を行った。

ここでは、各発行者の「取扱内容」から2観点と「使用上の配慮等」について説明する。

はじめに、「東京書籍」について報告する。

主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、上下巻を通じて成長する登場人物や、「かつどうべんりてちょう」を掲載し、活動や体験を通して気付いたことなどについて多様に表現し考える活動が取り扱われている。

内容の構成・排列については、「つながる ひろがる」を設け、中学年以降の教育との接続を図るなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。また、「ふゆをたのしもう」では、「ゆきやこおりであそぼう」として北海道の季節に合わせた内容が取り扱われている。

使用上の配慮等については、単元の扉ページに写真と吹き出しを用いて児童のつぶやきを掲載したり、多様な表現方法の例を掲載したりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。

その他の観点における調査研究結果は、報告書に記載のとおり。

つぎに、「大日本図書」について報告する。

主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、自分の成長したことを実感できる書き込み欄や「がくしゅうどうぐばこ」を掲載して、活動や体験を通して気付いたことなどについて多様に表現し考える活

動などが取り扱われている。

内容の構成・排列については、合科的・関連的指導が効果的な箇所にマークを設け、中学年以降の教育との接続を図るなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。また、「ふゆだいすき」では、「ゆきやこおりでみんなとあそぶのだいすき」として北海道の季節に合わせた内容が取り扱われている。

使用上の配慮等については、児童の思いや願いを挿絵や吹き出しで掲載したり（全学年）、活動の視点を示唆するビンゴカードを掲載したりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。

つぎに、「学校図書」について報告する。

主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、キャラクターによる単元のストーリーや「学び方図かん」を掲載し、活動や体験を通して気付いたことなどについて多様に表現し考える活動や「見付ける」「比べる」「たとえる」などの学習活動が取り扱われている。

内容の構成・排列については、中学年への期待を高めるページを設け、中学年以降の教育との接続を図るなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。また、「ふゆをたのしもう」では、「ゆきやこおりであそぼう」として北海道の季節に合わせた内容が取り扱われている。

使用上の配慮等については、単元の導入で自分の思いや願いをもたせる言葉を掲載したり、単元の終末に「もっと〇〇したい」を掲載したりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。

つぎに、「教育出版」について報告する。

主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元を「わくわくスイッチ」、「はっけんロード」と「はてな」、「ぐんぐんはしご」で段階的に構成して、「ひんと」を活用して多様な学習活動が取り扱われている。

内容の構成・排列については、「はってん」コラムと特設ページを設け、中学年以降の教育との接続を図るなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。また、「きせつとなかよしふゆ」では、「ゆきやこおりであそぼう」として北海道の季節に合わせた内容が取り扱われている。

使用上の配慮等については、小単元「サイコロ」で、「めあて」を掲載したり、単元末に「なにをかんじたかな」を掲載したりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されています。

つぎに、「光村図書」について報告する。

主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元を「導入」、「展開」、「振り返り」で構成して、活動や体験を通して気付いたことなどについて多様に表現し考える活動や「ひろがる せいかつじてん」を活用して多様な学習活動が取り扱われている。

内容の構成・排列については、中学年への期待を高めるコーナーを設け、中学年以降の教育との接続を図るなど、系統的・発展的に学習できるような工夫されている。また、「ふゆとともにだち」では、「ゆきやこおりであそぼう」として北海道の季節に合わせた内容が取り扱われている。

使用上の配慮等については、単元扉に学習対象と児童の写真、問いかけを位置付けたり、小単元に「ふりかえろう」を位置付けたりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。

最後に、「啓林館」について報告する。

主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元を「わくわく」、「いきいき」、「ぐんぐん」の3段階で構成して、学びのキーワードを活用して、「見つける」、「比べる」、「たとえる」、「試す」、「見通す」、「工夫する」など多様な学習活動が取り扱われている。

内容の構成・排列については、「3年生へのステップブック」の資料単元を設け、中学年以降の教育との接続を図るなど、系統的・発展的に学習できるような工夫されている。また、「ふゆとなかよし」では、「ゆきやこおりであそぼう」として北海道の季節に合わせた内容が取り扱われている。

使用上の配慮等については、次の活動に向けた「めくり言葉」を位置付けたり、「できるかな できたかな？」コーナーを掲載したりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。

発行者ごとの教科用図書の調査研究報告は以上となる。

(報告終了)

◆質疑応答

会 長／生活の調査研究報告について質問等はないか。

Q ／生活科においては、子供たちの「気づきの質を高める」ことが求められているが、この点について、各者どのような配慮がなされているか。

A ／各者とも、写真やイラストを多く掲載することで、より多くの気づきが生まれ、対話的な授業が展開されるように工夫されている。また、一人一台端末を活用して、画像や動画等のデジタルコンテンツを閲覧することで、教室における学習活動では得ることができない体験を補完することができるように工夫されている。6者中5者で一人一台端末等の操作方法や活用方法について例示されている。QRコードが各者とも掲載されていて、掲載されている位置や大きさなどは各者それぞれで工夫されている。

Q ／幼児期の学びを小学校での学びに円滑に接続するために、生活科を中心として、スタートカリキュラムを編成することが求められているが、この点について各者どのような配慮がなされているか。

A ／幼児教育との接続が生活科の中でとても重要視されている。各者とも、多くのページを使って、スタートカリキュラムの内容を扱っている。例えば、学校生活のルールや、友達とのよりよいかかわり方、安全や健康に関する活動例など、幼児期に育まれた力が小学校生活でより発揮される場面を写真やイラストで例示している。

Q ／各者とも子供たちが読みやすいように、配色や書体にユニバーサル・デザ

インを用いていると報告されているが、どのような工夫がなされているか。

A /各者とも、ユニバーサル・デザインを用いて、判別しやすい配色にしたりするなどの配慮がなされている。また、教科書の版型は、A B版2者、A 4版4者であり、いずれも児童が思考を働かせて、気付きの質を高めることができるよう、写真やイラストが大きく掲載されている。

Q /地域や自然とかかわる活動等について、各者どのような配慮がなされているか。

A /生活科は、体験や表現を重視する教科であるため、各者とも季節に合わせた体験活動の例示が数多く掲載されている。身近な北海道とかかわりのある内容については、雪や氷を用いた遊びが各者で取り扱われている。6者中4者が北海道とかかわりのある写真資料を取り扱っている。

(質疑応答終了)

◆意見交換・採択協議

会 長／引き続き、生活の採択の審議に入る。

● 各者とも、学習意欲を引き立たせる配慮がなされていると思うが、特に教育出版が良いのではないかと思う。その理由は、絶対的に学びへ導く、興味を引くきっかけとなる仕掛けが多様な形で配置され、楽しんで学習できる配慮がなされており、また活動と振り返りの配置、バランスが適切で、児童自らが学習内容を把握し、見通しをもって取り組むことができる構成となっていることを評価した。

● 調査委員会からの報告のとおり、各者とも様々な工夫がなされているので、大きな差は無いように思う。学習意欲を高める、また、主体的に学習に取り組む工夫の観点からいくと教育出版が優れていると思う。学習の動機づけとなる「わくわくスイッチ」により期待感をもって取り組むことや、「ぐんぐんはしご」などによって自己評価をもとに意欲を向上させる仕掛けが多く配置されている。また、国際化やインクルーシブについて写真やイラスト等が豊富で適切に配置されている。さらには、コラムにおいて学びに対する配慮がされていると判断して、教育出版が優れていると思う。

会 長／他の意見はないか。(なし)

これまでの審議の経過を踏まえて、生活は教育出版と決定することとしてよろしいか。(異議なし)

それでは、生活については、全会一致で教育出版の教科用図書を採択することと決定する。

【音楽】

◆委員長報告

委員長／音楽小委員会副委員長、網走市立網走小学校の渡辺岳男です。

音楽小委員会は、4名の調査委員で、7月5日に開催された、第1回調査委員会以降、「教科書編集趣意書」、道教委発行の「採択参考資料」等を参考資料としながら、観点に従って調査研究を行った。

最初に、教育出版の「小学音楽音楽のおくりもの」について申し上げる。

「取扱い内容」について、主体的、対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、例えば、第1・2学年では、見通しをもたせるとともに、選んだ音に合わせて手の高さを工夫する学習の後に、歌に合わせて体を動かすなど、考えを広げたり、深めたりすることができるように「どれみとなかよし」が取り上げられている。第3・4学年では、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、おはやしづくりの後に、世界に伝わるいろいろなリズムや歌を楽しむなど、考えを広げたり、深めたりすることができるように「日本と世界の音楽」が取り上げられている。第5・6学年では、学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、交響曲の鑑賞の後に、思いや意図を大切にしながらみんなで表現を工夫するなど、考えを広げたり、深めたりすることができるように「アンサンブルのみりょく」が取り上げられている。

「使用上の配慮等」について、ユニバーサルデザインフォトを使用したり、他教科と関連する教材として「ショートタイムラーニング」を掲載したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、旋律の動きを捉えることができる動画を活用できるなど、使用上の便宜が図られている。

次に、教育芸術者の「小学生の音楽」について申し上げます。

「取扱い内容」について、主体的、対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、例えば、第1・2学年では、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、音楽に合わせてリズムを打つ学習の後に、習ったリズムを選んで歌いながら打つなど、考えを広げたり、深めたりすることができるように「はくにのってリズムをうとう」が取り上げられている。第3・4学年では、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、箏曲を鑑賞した後に、日本の音階のよさを感じ取りながら旋律をつくるなど、考えを広げたり、深めたりすることができるよう「日本の音楽でつながろう」が取り上げられている。第5・6学年では、学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、日本楽曲の鑑賞の後に、曲想を感じ取って思いが伝わるように歌うなど、考えを広げたり、深めたりすることができるよう「詩と音楽との関りを味わおう」が取り上げられている。

「使用上の配慮等」について、ユニバーサルデザインフォトを使用したり、外国語活動と連携した平易な英語歌詞の歌を掲載したりするとともに、タブレット端末で学習するコンテンツにアクセスし、参考となる音源や資料を活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。

(報告終了)

◆質疑応答

会 長／音楽の調査研究報告について質問等はないか。

- Q ／各者とも学習意欲を高める工夫や主体的に取り組む工夫がされているが基礎的・基本的な学力の定着について、適切な配慮はなされているか。
- A ／教育芸術社は、相互に関連をもった教材の配列により、積み重ねの学習や振り返りの学習を行いやすく、音楽活動の基礎的な能力の定着、伸長が図れるようになっている。教育出版は、表したい音楽表現をするために必要な各技能が、無理なく身に付くような教材が、指導のねらいに即し配置されている。
- Q ／各者における思考力、判断力、表現力等の育成に関する目標の達成に向けてどんな工夫がされているか。
- A ／教育出版社は、聴き取った「音楽を形づくっている要素」をもとに個々の音楽を捉え魅力を感じ取ったり、思いや意図を生かした演奏のための技能を身につけたりするような教材の選択や扱いに配慮されている。また、教育芸術社は、児童の作品例のほか、グループ活動時の会話を想定した吹き出しが配置されている等、児童が表現に対して思いや意図をもったり、音楽や演奏のよさを味わいながら聴いたりするために必要な情報が示されている。
- Q ／幼児期の教育と小学校の教育のスタートカリキュラムへの配慮はなされているか。
- A ／教育芸術社は、1年生の導入ページにおいて、聴こえてくる音楽に合わせて体を動かしたり知っている歌と一緒に探して教え合ったり、ペアやグループで体を動かしながら歌ったりする活動が取り入れられており、無理なく段階を踏んで音楽的な学習へ移行できるように配慮されている。また、教育出版社も児童が幼児期に触れた経験があると考えられる教材群がイラストで示されたり、わらべ歌を扱ったりすることで、スタートカリキュラムを意識した配慮がされている。

(質疑応答終了)

◆意見交換・採択協議

会 長／引き続き、音楽の採択の審議に入る。

- 二者とも大きな差は見分けられなかった。絶対個性としてわかりやすく、楽しく学べる工夫がされている教育芸術社が良いと思う。具体的には、何を学ぶのか、何ができるようになるかという知識や、技能をわかりやすく示し、習得するためにどのように学ぶのかが具体的に示され、児童が具体的にに取り組む工夫がされており、音楽が持つ楽しさや美しさを知り、触れるため、写真等の配置やデザイン、楽器の説明、楽器の選択など細かな配慮がされていると感じた。また、北海道に関する民謡や舞踊、楽団の掲載

が多くあることも評価した

会 長／他の意見はないか。(なし)

これまでの審議の経過を踏まえて、音楽は教育芸術社と決定することとしてよろしいか。(異議なし)

それでは、音楽については、全会一致で教育芸術社の教科用図書を採択することと決定する。

【図画工作】

◆委員長報告

委員長／図画工作小委員会委員長の北見市立川沿小学校長の玉造 至です。

図画工作小委員会は、4名の調査委員で、7月5日に開催されました、第1回調査委員会以降、道教委発行の「採択参考資料」等を参考としながら、観点に従って調査研究を行った。

それでは、2者の「図画工作」の教科用図書について報告する。

始めに、開隆堂出版の図画工作から報告する。

発行者の特徴として、「取り扱い内容」と「使用上の配慮等」について申し上げます。

取り扱い内容の主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第1、2学年での「あなでつながる二つの世界」、第3、4学年での「みんなでつくろうねん土ランド」、第5・6学年での「学校おすすめガイド」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、友達と話し合ったり、力を合わせたりしながら活動し、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。

使用上の配慮等については、「みんなのギャラリー」、「おおきなこどもにんぎょう（札幌市）」（第1、2学年上）や「雪の世界」産（札幌市）」（第3、4学年下）を掲載するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。題材ごとに三つの育てたい資質・能力を示した「学習のめあて」を掲載したり（全学年）、カラーユニバーサルに配慮したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られているとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、材料用具の使い方や作品動画を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。

その他の観点における調査研究結果は、報告書の記載にあるとおり。

次に、日本文教出版の図画工作について報告する。

発行者の特徴として、「取り扱い内容」と「使用上の配慮等」について申し上げます。

取り扱い内容の主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第1、2学年での「カラフルいろみず」、第3、4学年での「これでかきたい」、第5、6学年での「自然を感じるすてきな場所で」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、友達と話し合ったり、力を合わせたりしながら活動し、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。

使用上の配慮等については、「けずって見つけたいい形」、「妙夢（札幌市）」（第5、6学年上）や「美術館へ行こう」に、「ハロー！ミュージアム（札幌市）」（第5、6学年上）を掲載するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。題材ごとに三つの育てたい資質・能力を示した「学習のめあて」を掲載したり（全学年）、カラーユニバーサルに配慮したり全学年にわたり、使用上の便宜が図られている、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、材料用具の使い方や作品動画を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。

その他の観点における調査研究結果は、報告書の記載にあるとおり。

以上で「図画工作」について報告を終わる。

（報告終了）

◆質疑応答

会長／図画工作の調査研究報告について質問等はないか。

Q ／近年、免許外で指導している状況がある、それに配慮されている内容があるのか？

A ／授業の道具ややり方については、各社後ろのほうに記載し、まとめられている。特に二次元コードをつかって、動画など視聴できる配慮されている。こちらをつかうことで、免許がなくてもわかりやすくなる配慮がされている。

Q ／地域や身近な社会とのかかわりであったり、伝統と文化の尊重、図画工作で児童の学習意欲を含めて各社どのように配慮されているか？

A ／展示場所や作られている場所を紹介しながら子供たちの意欲を高めている。開隆堂の「みんなのギャラリー」、「おおきなこどもにんぎょう」、「雪の世界」産」日本文教出版の「けずって見つけたいい形」、「妙夢」、「美術館へ行こう」、「ハロー！ミュージアム」は札幌市に展示されていることを紹介し、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。

Q ／特別支援教育に関する配慮やインクルーシブ教育の観点での取り組みに関し、図画工作科の特性を生かして、各社どのような配慮がされているか

A ／文章の表記を意味のまとまりごとに改行位置を工夫することによって、障がいのある児童にわかりやすく、とらえやすくなっている。写真や図を重ねる場合には線を入れて図版を区別しやすいようにする配慮がなされている。

また、本文には誰にでも読みやすいユニバーサルデザインフォントが採用されているだけでなく、各図版に図版番号を付すなどの配慮がされていたり、背景色や、視覚障がいについても考えられるよう、カラーユニバーサルデザインに配慮して編成されている。

（質疑応答終了）

◆意見交換・採択協議

会 長／引き続き、図画工作の採択の審議に入る。

- 学習のポイントが、よりしっかり示されている日本文教出版がよいと考える。具体的な学習の方法も段ボール、歯ブラシ、ストローなど身近な材料を使い、破く、折る、ねじる、丸める、削る、巻く、ひっくり返すといった行動で作品を作ったり、それを向き、量、角度を組み合わせたり、音を絵で表現するなど子供たちそれぞれの感性を十二分に引き出そうと感じている。「失敗を怖がらず思い切って」と書かれていることに代表されるように、子供たちの誘導の言葉が優しく、自ら取り組める促しが絶妙である。したがって、日本文教出版が良いと考える。

会 長／他の意見はないか。(なし)

これまでの審議の経過を踏まえて、図画工作は日本文教出版と決定することとしてよろしいか。(異議なし)

それでは、図画工作については、全会一致で日本文教出版の教科用図書を採択することと決定する。

(小休憩)

【家庭】

◆委員長報告

委員長／家庭科小委員会委員長の紋別市立紋別小学校の大岩芳江です。

家庭科小委員会は、4名の調査委員で7月5日に開催され、第1回調査委員会以降、道教委発行の「採択参考資料」等を参考としながら、観点に従って調査研究を行った。

それでは、2者の「家庭」の教科用図書について報告する。

はじめに東京書籍の「新しい家庭5・6 私がつくる みんなでつくる 明日をつくる」から報告する。

発行者の特徴として、「C 消費生活・家庭」と「使用上の配慮」について申し上げる。

C 消費生活・家庭については、インターネットの通信販売、売買契約成立についての考え方、多様な支払い方法など、現代社会で直面する消費生活について学び考える内容が盛り込まれており、子供たちが実生活で直面する内容を取り扱っている。

使用上の配慮としては、学習内容が児童の生活視点に基づいて、複合的に構成されているという特徴がある。例えば、第5学年の早い段階で、消費生活とSDGsが同一単元で学習をすること、「食」の単元では非常時の備えについて缶詰やレトルト食品についての記述がある等があげられる。

その他の観点における調査研究結果は、報告書の記載にあるとおり。

次に、開隆堂「わたしたちの家庭科 5・6」について報告する。

発行者の特徴として、「C 消費生活・家庭」と「使用上の配慮」につい

て申し上げる。

C 消費生活・家庭については、売買契約成立についての考え方、多様な支払い方法などについての記述があり、これまでの日常の生活経験から消費活動を振り返り、エシカル消費について考える内容が盛り込まれている。

使用上の配慮等は、スモールステップで学習を進め、調理や被服実習において、横流れで実習手順を表記することで統一されている。また、北海道とかかわりのある身近な内容が多く取り上げられていることが特徴となっている。

その他の観点における調査研究結果は、報告書の記載にあるとおり。

以上で「家庭」について報告を終わる。

(報告終了)

◆質疑応答

会長／家庭の調査研究報告について質問等はないか。

Q ／グローバル化に対して、日本の生活文化の大切さに気付くことができるようにするために、「B衣食住の生活」においては、和食の基本となるだしの役割や季節に合わせた着方や住まいなど、日本の伝統的な生活について取り扱うこととしているが、どのように取り扱われているか

A ／日本の生活文化について、2者ともに、「伝統」として記載し、日本の食文化や伝統文化について、記載されている。

Q ／持続可能な社会の構築に対応して、自立した消費者を育成するために、「C消費者生活・環境」においては、中学校との系統性を図り、「買い物の仕組みや消費者の役割」に関する内容を新設するとともに、他の内容と関連を図り、消費生活や環境に配慮し、よりよくしようと工夫をする実践的な態度を育成することをねらいとしているが、どのように取り扱われているのか

A ／2者ともに、消費者生活については、5年生で取り上げられている。消費生活については、売買契約や様々な支払い方法、消費生活センターについて、2者ともに取り上げられている。消費生活の発展学習として、東京書籍は、インターネットでの買い物に対する学習。開隆堂では、購入した物が破損していた場合の対処の学習について、取り扱いがある。また、SDGsについての学習は、東京書籍は5年生の単元、開隆堂は6年生の単元で取り上げられている。

Q ／全ての児童が学習しやすい手立てとして、各者、どのような配慮をしているのか

A ／2者ともに、ユニバーサルデザインフォントを使用している。実習では左利きの子供たちにも動画コンテンツなども採用して道具の使い方等も工夫されている。

- Q /日常生活の中から問題を見出して課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養うことが求められているが、どのように取り扱われているのか。
- A /2者ともに、全ての単元が、課題を発見し、課題解決・実践、評価・改善、の3ステップで学習の流れで構成されている。東京書籍は、「見つめよう」、「計画しよう・実践しよう」、「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の3つのステップで学習を進めている、問題解決、課題解決になるように「活動」と表示されている内容を順番に行うことで、問題解決型学習が実現できるようになっている。各題材の導入に、「家庭科の窓」と題し、家庭科の見方考え方を示している。また、3ステップでそれぞれ「トライシート」と題した二次元コードを用いた学習コンテンツが用意されている。開隆堂は、「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」の3ステップで、学習を進め問題解決型学習が実現できるようになっている。各題材で、生活の見方・考え方の4つの視点が示されている。また、学習の終わりに学習を振り返るチェック項目が記載されている。

(質疑応答終了)

◆意見交換・採択協議

会 長／引き続き、家庭の採択の審議に入る。

- 二者とも学習意欲を高め、主体的に学習に取り組む工夫が見られ、内容においては大きな差は無いと思う。具体的には開隆堂はボタンの付け方を図解でわかりやすく、丁寧に説明しているものに対し、東京書籍は写真のみの説明となっている。東京書籍は全体を通して、文字数が多く、細かすぎる所が見やすさにおいてマイナスの印象。開隆堂の評価としては学びが見える見開きの構成で学習の流れがわかりやすいこと。計画・実践・理解・評価・課題と改善策を掲載していること。家庭科と関連付けた学習もできるよう配慮されていること。また選定理由として「家族・家庭生活」、「衣食住生活」、「消費生活・環境」について学習意欲を高める工夫がされていて全体を通してバランスが取れていて、児童が使いやすい教科書であること。また、現行で使用している教科書で問題がないことから開隆堂が良いと思う
- 開隆堂出版株式会社が良いと思う。開隆堂については、吹き出しのイラストとコメントが見やすくて的確。カラーユニバーサルデザイン設計により、読みやすく使いやすい。それから、2年間の学習を中学校技術・家庭に繋げるためのページを設けるなど系統的な学習への配慮が見られる。また北海道との関わりのある内容を取り上げているページ数も東京書籍で1、開隆堂4。実習・実験の指導における安全と衛生に関する個所数、東京書籍は31、開隆堂は32と、数値的に見ても開隆堂出版株式会社が良い。

会 長／他の意見はないか。(なし)

これまでの審議の経過を踏まえて、家庭は開隆堂出版と決定することとしてよろしいか。(異議なし)

それでは、家庭については、全会一致で開隆堂出版の教科用図書を採択することと決定する。

【体育（保健）】

◆委員長報告

委員長／体育小委員会委員長、北見市立高栄小学校 校長 信田雅守 です。

体育小委員会は、4名の調査委員で、7月5日に開催された、第1回調査委員会以降、「教科書編集趣意書」、道教委発行の「採択参考資料」等を参考としながら、観点に従って調査研究を行った。

最初に、東京書籍「新しい保健」について申し上げる。

発行者の特徴として「取扱内容」と「使用上の配慮等」の2点について申し上げる。

「取扱内容」につきましては、第3、4学年の「健康な生活」について、体や衣服などを清潔にする理由やアドバイスについて理解し、「体の発育・発達」については、身長なのびや発育の個人差を調べ、よりよい生活の仕方を考える活動を通して理解し、見つけた課題の解決策を考え、表現できるようになっている。第5、6学年の「心の健康」及び「けがの防止」については、心と体が影響し合っていること、不安や悩みへの対処方法、事故やけがの原因、危険予測や危機回避、けがの手当や対応について考え、表現できるようになっている。

「病気の予防」については、感染症、生活習慣病、喫煙・飲酒・薬物乱用などが健康に及ぼす影響を理解し、課題解決に向けて思考・判断し、表現できるようになっている。

主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第3、4学年では、「毎日を健康に過ごすには、どんな生活の仕方がよいのか」、第5、6学年では、「交通事故はどのようにすれば防止できるのか」という課題を設定し、「調べる・解決する」「深める・伝える」などが取り扱われている。

「使用上の配慮等」については、全学年、関連ある資料や二次元コードの掲載、課題解決に結びつく視点を吹き出しで示したり、身につけてほしいスキルを扱ったりするなど、児童の学習意欲を高め、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。

その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、大日本図書「たのしい保健」について申し上げる。

発行者の特徴として「取扱内容」と「使用上の配慮等」の2点について申し上げる。

「取扱内容」につきましては、第3、4学年の「健康な生活」について、1日の生活をふり返り、健康な生活の仕方や身の回りの環境の整え方につい

て理解し、「体の発育・発達」については、身長の変化や思春期における体の変化を調べ、よりよい生活の仕方を話し合う活動を通して理解し、見つけた課題の解決を考え、表現できるようになっている。第5、6学年の「心の健康」及び「けがの防止」については、不安や悩みへの対処方法や危険予測、安全な行動、けがの手当や対応について思考、判断し、表現できるようになっている。

「病気の予防」については、病気の予防策や喫煙、飲酒、薬物乱用などが健康に及ぼす影響を理解し、課題解決に向けて思考・判断し、表現できるようになっている。

主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第3、4学年では、生活リズムの関わりを調べたり、自分の考えを広げたり、深めたりする活動が、第5、6学年では、安全な行動について自分の考えを広げたり、深めたりする活動が取り扱われている。

「使用上の配慮等」につきましては、全学年、単元の学習課題に関連した学習ゲームの掲載やミニ知識を示し、「考える・話し合う・調べる」活動を通した課題解決の活動を示すなど、児童の学習意欲を高め、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。

その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、大修館書店「新小学校保健」について申し上げる。

発行者の特徴として「取扱内容」と「使用上の配慮等」の2点について申し上げる。

「取扱内容」については、第3、4学年の「健康な生活」について、空気の流れの実験結果を基に換気の大切さについて考える活動を通して理解し、「体の発育・発達」については、身長の伸びや思春期に起こる体や心の変化、よりよい生活の仕方を話し合う活動を通して理解し、見つけた課題の解決に向けて考え、表現できるようになっている。

第5、6学年の「心の健康」及び「けがの防止」については、心の働きの変化、不安や悩みへの対処方法や事故を防ぐための方策、けがの手当の仕方について見つけた課題の解決に向けて考え、表現できるようになっている。

「病気の予防」については、病気の要因、感染症の予防方法について話し合い活動を通して、見つけた課題の解決に向けて考え、表現できるようになっている。

主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第3、4学年では、学習課題を設定し、「考えよう」「話し合おう」で自分の考えを広げたり深めたりする活動が、第5、6学年では、学習課題を設定し、「調べよう」「話し合おう」で自分の考えを広げたり深めたりする活動が取り扱われている。

「使用上の配慮等」については、全学年、課題を発見する活動、書き込みスペースの設定、対話的な活動や自己の課題を修正する活動を示すなど、児童の学習意欲を高め、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。

その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、文教社「新わたしたちの保健」について申し上げる。

発行者の特徴として「取扱内容」と「使用上の配慮等」の2点について申し上げます。

「取扱内容」については、第3、4学年の「健康な生活」について、健康な生活を送るために、生活の仕方と身の回りの環境について理解し、「体の発育・発達」については、身長や体重の変化、思春期における体や心の変化について理解し、見つけた課題の解決策を考え、表現できるようになっている。第5、6学年の「心の健康」及び「けがの防止」については、思春期の不安や悩みの対処方法や、けがの原因、危険予測と回避方法について理解し、見つけた課題の解決策を思考・判断し、表現できるようになっている。

「病気の予防」については、病気の原因や予防、喫煙、飲酒、薬物乱用などが健康に及ぼす影響を理解し、課題解決に向けて思考・判断し、表現できるようになっている。

主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第3、4学年では、「健康でいるためには1日の生活のしかたをどのようにすればよいのか」、第5、6学年では、「わたしたちの心と体はどのように関わり合っているのか」という課題を設定し、調べよう、もう一歩先の自分へなどが取り扱われている。

「使用上の配慮等」については、全学年、イメージしやすい写真の掲載、本児のメニューやミッション、課題解決の視点を受けたキャラクターの発言を示すなど、児童の学習意欲を高め、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。

その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、光文書院「小学保健」について申し上げます。

発行者の特徴として「取扱内容」と「使用上の配慮等」の2点について申し上げます。

「取扱内容」については、第3、4学年の「健康な生活」について、1日の生活をふり返り、生活の仕方や身の回りの環境の整え方について話し合う活動を通して理解し、「体の発育・発達」については、身長の変化や思春期における体の変化、よりよい生活の仕方について話し合う活動を通して理解し、見つけた課題の解決策を考え、表現できるようになっている。第5、6学年の「心の健康」及び「けがの防止」については、心が体に影響する事例や経験を基にした不安や悩みの対処法、事例やデータを基にしたけがや事故の発生原因、適切な手当の手順を理解し、見つけた課題の解決策を考え、表現できるようになっている。

「病気の予防」については、生活習慣病や感染症の予防について理解し、見つけた課題の解決に向けて考え、表現できるようになっている。

主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第3、4学年では、学習課題を設定し、「調べよう・考えよう」で調べ、「話し合おう」で考えを広げたり深めたりする活動が、第5、6学年では、学習課題を設定し、「調べよう」「学びを生かそう」で考えを広げたり深めたりする活動が取り扱われている。

「使用上の配慮等」については、全学年、学習のイメージがつかめる漫画

の掲載、導入時の自分事としてとらえることができる問いや他者へ伝える活動を示すなど、児童の学習意欲を高め、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。

その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

最後に、学研「みんなの保健」について申し上げる。

発行者の特徴として「取扱内容」と「使用上の配慮等」の2点について申し上げる。

「取扱内容」については、第3、4学年の「健康な生活」について、2人の1日の生活の仕方を比べ、健康な生活の仕方や部屋の空気の様子を理解し、「体の発育・発達」については、思春期に起こる体の変化や男女の違い、栄養バランスについて理解し、見つけた課題の解決に向けて考え、表現できるようになっている。第5、6学年の「心の健康」及び「けがの防止」については、心と体が関係している事例や経験、不安や悩みへの対処、けがの原因、事故を防ぐ工夫、危険予測や危機回避の方法について理解し、課題を見つけ、解決に向けて考え、表現できるようになっている。

「病気の予防」については、病気や生活習慣病の予防について理解し、見つけた課題の解決に向けて思考・判断し、表現できるようになっている。

主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第3、4学年では、「毎日を健康に過ごすには、どんな生活の仕方がよいのか」、第5、6学年では、「交通事故はどのようにすれば防止できるのか」という課題を設定し、「調べる・解決する」「深める・伝える」などの活動が取り扱われている。

「使用上の配慮等」につきましては、全学年、身近に感じる資料の掲載、選択的な学習、学習内容に関連する人々の解説を掲載するなど、児童の学習意欲を高め、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。

その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

以上で体育小委員会の報告を終わる。

(報告終了)

◆質疑応答

会 長／体育（保健）の調査研究報告についてご質問はないか

Q ／健康・安全に関する現代的な諸課題について、各者、この点についてどのように示されているか。

A ／各者、SDGsについて関連する資料が明記されてる。体の発育・発達の学習では、個人差や性の多様性について触れられている。また、「健康な生活」や「病気の予防」の学習を通して、感染症予防に関する内容が示されている。

Q ／健康や安全に関する情報を適切に収集し、活用する力を育むことが大切と考えますが、この点各社どのような配慮がなされているか。

A /調べる、読む、書く、対話するなどの活動から、適切に情報を収集し、活用する力を育めるよう配慮がなされている。また、1人1台端末環境下の学習をサポートするために、デジタルコンテンツの充実が図られている。児童の興味・関心を引き出すことにつながるよう配慮されている。

Q /ユニバーサルデザインの配慮について、各者、どのような工夫がなされているか。

A /特別な支援を必要とする児童の学習のしづらさや不安を招かないように、イラストや写真の配置、マークや囲みのデザインなどすべての児童が、読みやすく、使いやすいように工夫されている。

(質疑応答終了)

◆意見交換・採択協議

会 長／引き続き、体育（保健）の採択の審議に入る。

● 各者とも学習指導要領の総則を経て各学年の目標を達成できるように十分工夫された学習活動で構成されている。中でも東京書籍は1ページ目で課題を考え、2、3ページの見開きで課題を解決。4ページ目でまとめという構成で学習の流れが明確になっており、日常経験などから課題の発展に繋がる発問を設定するなど、主体的に学習に取り組む工夫がされているほか、デジタルコンテンツを多く取り入れて、今後の授業形態を見据えた内容となっている。さらに内容の構成、排列についても系統的・発展的に学習できるよう工夫され、学年に応じて余裕をもって学習できるように工夫されている。以上のことから東京書籍が良いと思う。

● 現行の東京書籍が良いと思う。理由としては、授業の導入で児童が自分の健康課題に気づき、問題意識を高めることができる資料を表示したり、各項目末に学習内容の関連のある資料を掲載するなど、児童の学習意欲を高める工夫をすることにより、なぜ健康でいることが必要なのか、健康で過ごすにはどのような生活をしたらいいのか。など、わかりやすくまとめられており、また、二次元バーコードによる動画やシミュレーションも多彩であることから、東京書籍が良いと考えます。

会 長／他の意見はないか。（なし）

これまでの審議の経過を踏まえて、体育（保健）は東京書籍と決定することとしてよろしいか。（異議なし）

それでは、保健については、全会一致で東京書籍の教科用図書を採択することと決定する。

【外国語（英語）】

◆委員長報告

委員長／外国語小委員会委員長の北見市立若松小学校長の爲広 千里です。

外国語小委員会は、4名の調査委員で、7月5日に開催されました、第1回調査委員会以降、道教委発行の「採択参考資料」等を参考としながら、観点に従って調査研究を行った。

それでは、6者の「外国語」の教科用図書について、報告する。

各者とも発行者の特徴として、「取扱内容」と「使用上の配慮等」について申し上げる。

始めに東京書籍の「NEW HORIZON」から報告する。

取扱内容の主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、身近なテーマに基づいて考え、やり取りしたり、グループで取り組んだりするように工夫されている。例えば、第5学年では、自分の町のおすすめの施設を紹介する活動やオリジナルタウンを使って好きな施設を紹介する活動、第6学年では、SDGsを視野に入れて自分ができることを考える活動などが取り扱われている。

使用上の配慮については、お互いの魅力を発見したり、SDGsをテーマにした学習など児童が主体的に学習に取り組んだりできるように工夫されている。また、映像の本数や一本当たりの時間を当社比で約37%短縮して、児童の学習意欲を高めるよう工夫されている。

その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、開隆堂出版「Junior Sunshine」について報告する。

取扱内容の主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、身近なテーマで考えたことをやり取りしたり、グループで発表しあったりするように工夫されている。例えば、第5学年では、自分が作ったマイタウンのお気に入りの場所を紹介する活動、第6学年では、小学校の思い出アルバムで自分の1番の思い出を発表する活動などが取り扱われている。

使用上の配慮については、各単元の後に、これまで学習した表現や語句を用いた短い読み物「Story Time」を掲載し、児童の学習意欲を高めるよう工夫されている。また、各Lessonの最初のページに評価領域・観点、他教科等や教育課題との関連が記載されているなど、使用上の便宜が図られている。

その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に三省堂「CROWN Jr.」について報告する。

取扱内容の主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、児童それぞれの気持ちや考えを自分で選んだ英語で表現する活動や、ペアワークやグループワークで対話的に学び合うように工夫されている。例えば、第5学年では、人物紹介クイズをしてその人のできることや得意なことを伝え合う活動、第6学年では、これからの私についてスピーチを作り、同級生に向けて発表する活動などが取り扱われている。

使用上の配慮については、数か所に「ABC Fun Box」を設け、音声で慣れ親しんだ語句を扱い、読むことや書くことの活動を積み重ねるなど、児童の学習意欲を高めるよう工夫されている。また、巻末についているアル

ファベットやイラストのカードは、予備カードを奥側に配置し、児童が紛失しないよう、使用上の便宜が図られている。

その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に教育出版「ONE WORLD Smiles」について報告する。

取扱内容の主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、児童が興味・関心をもった内容について考え、やり取りしたり、協力して作業しながら学び合うように工夫されている。例えば、第5学年では、行ってみたい都道府県についてのクイズを作って出し合う活動、第6学年では、グループでツアーパンフレットを作成し、発表する活動などが取り扱われている。

使用上の配慮については、世界の子どもたちの様子にふれ、異文化に関心を広げたり、世界との一体感を感じたりしながら学習意欲を高められるように工夫されている。また、表紙には抗菌加工がされており、製本は堅牢で長期間の使用に耐えられるようになっている。

その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に光村図書「Here We Go!」について報告する。

取扱内容の主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、児童が考えたことを伝え合い、グループでの活動に活用するなど協働して学習できるように工夫されている。例えば、第5学年では、地域の名産品を使った料理を考えて、店員と客になって料理を注文し合う活動、第6学年では、これまでに学んできた英語を使ってグループで協力し合い、イングリッシュフェスティバルを開く活動などが取り扱われている。

使用上の配慮については、巻末に「All about me」というシートを用意し、学びの足跡をポートフォリオのように残すことができるなど、児童の学習意欲を高める工夫がされている。また、自己紹介で「I like …」のように、必要な全てのセリフを示さず、考える余地を残すなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫がされている。

その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

最後に啓林館「Blue Sky elementary」について報告する。

取扱内容の主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、児童の生活に関連した場面を設定し、互いに表現しあうことで、他の児童の発話から相互に学びを深め合うように工夫されている。例えば、第5学年では、自分の1日の過ごし方を発表しあい、自分の生活をふりかえる活動、第6学年では、日本の魅力を題材にし、映像視聴やリスニング活動を通して推測できる仕組みを設け、推測したことを児童同士で共有し、グループの中で外国の人が日本で楽しめるものを話し合う活動などが取り扱われている。

使用上の配慮については、やり取りの場面を多く設定することによって、友だちと伝え合う楽しさを感じられるようにして、児童の学習意欲を高める工夫がされている。また、世界地図、日本地図を大きく見られるように折り込みにするなど、使用上の便宜が図られている。

その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

以上で、外国語について報告を終わる。

(報告終了)

◆質疑応答

会 長／外国語（英語）の調査研究報告について質問等はないか。

Q ／児童の興味・関心を生かした学習が促されるよう工夫することが求められていることから、北海道や地域にかかわりのある内容の掲載について知りたい。この点について各者の状況はどのようになっているか。

A ／北海道とのかかわりのある内容を取り上げている資料等の箇所数について5、6年合わせて、東京書籍6、開隆堂7、三省堂5、教育出版26、光村図書7、啓林館7となっている。また、自分の地域について調べたり考えたりする活動を取り扱っているのは、東京書籍は5学年、開隆堂は5学年、三省堂は6学年、教育出版は6学年、光村図書は5学年で北海道について取り上げており、啓林館は6学年で取り上げている。

Q ／ICTを活用したデジタル教科書の状況はどのようになっているか。

A ／デジタル教科書については、各者で閲覧できる学年やページが異なるため、本委員会では各者の解説資料を中心にして調査研究を行った。解説資料にある各者の特徴は次に述べるとおり。東京書籍は指導者用デジタルブックの操作性を改善し、ほとんどのコンテンツを2クリック以内に表示できるようにし、円滑に指導を進められるようにしている。開隆堂は対話のアニメーションや歌・チャンツ、海外文化などの字幕付き動画で、児童の内容理解を促進する。三省堂はパノラマやMy Dictionaryなどのイラストをタッチすると単語の音声を聞くことができる。My Dictionaryは音声とイラストをマッチングするゲームを用意しており、ゲーム感覚で単語の練習に取り組むことができる。教育出版はサイドバーの「録音・再生」ボタンを押すと、ネイティブ音声にならって自分が話す音声を録音することができ、録音した音声を再生して確かめたりできる。光村図書は紙面のデータを軽量化し、現行版に比べて紙面の読み込み速度の約85%短縮を実現しており、授業を止めることなく進めることができる。啓林館は読み上げ機能を使用して、紙面の語句などをタップすると発音を確認することができる。

Q ／学習指導要領では、中学年で英語の目標として「聴くこと」、「話すことのやり取り」、「話すことの発表」の三つの領域を設定し、音声面を中心とした外国語を用いたコミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成した上で、高学年において「読むこと」、「書くこと」を加えた教科として外国語教科を導入し、五つの領域の言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成することとしている。加わった目標について、各者においてはどのように扱われているか。

A ／「読むこと」については、各者とも第5学年ではアルファベットを識別し、

発音する活動が取り上げられており、第6学年では音声で慣れ親しんだ語句などを読んで意味を捉えたり、絵などを手掛かりにして語句や表現を見つけるなど、活動をステップアップさせていくように工夫している。「書くこと」については、各者とも第5学年ではアルファベットを書いたり簡単な語句や文を書き写したりする活動が取り上げられており、第6学年では選んだ語句や自分の考えた文を書き表すなど、段階的に書くことに慣れていくよう工夫している。

Q / 小学校から中学校への接続の観点において、各者ではどのような工夫がされているか。

A / 各者で中学校への接続を意識したと思われる活動は以下のとおりである。各者とも、最終単元の終わりにはこれまでよりも多く文章を書く活動を取り入れている。東京書籍はこれまでの学習をふり返り、プロフィールシートを作成し発表しあう。また、簡単な文に「主語」、「動詞」などの言葉を示し、中学校では文の仕組みについても学習することを記載している。開隆堂は中学校の英語の先生に自分のことをよく知ってもらうための自己紹介カードを作成する。また、これまでの学習をふり返り、考えたことを先生に伝える活動を取り上げている。三省堂は小学校生活をふりかえり、メッセージ入りのプロフィールカードを作成する。また、発展的な活動として、中学校で出会う友達や先生に自己紹介する動画を撮影する活動が記載されている。教育出版はこれまでに学んだことを使って、好きなことや将来の夢を書き、「My Book」を作る。また、中学校で自己紹介するときに役立つよう、中学校でしたいことをワークシートに記入する。光村図書は「English Festival を開こう」のテーマで、グループでアイデアを出し合いながら企画し、これまでに学んできた表現を活用して発表する活動を取り入れている。また、「All About Me」で中学校の目標を書く項目を設けている。啓林館は中学校でやってみたいことを含めたお礼の手紙を書く。また、日記などある程度の量がある文章を読む活動を取り入れている。

(質疑応答終了)

◆意見交換・採択協議

会 長 / 引き続き、外国語（英語）の採択の審議に入る。

● 各者とも目標達成できるよう系統性・発展性を考慮した学習活動で構成されている。その中でも開隆堂は目標に向かって学習に取り組むことができ、全体を通して聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの4機能がバランスよく配置されている。特に楽しく英語に取り組めて、英語が身につくように、会話やコミュニケーションを多く扱い、系統的に読む、書くが扱われている内容となっている。子供たちにとって身近で興味・関心の持てる題材によって、英語に親しみ、楽しめる内容となっており、英語を理解しようとする意欲を高める工夫がされている。以上のことから開隆堂が

良いと思う。

- 各者とも学習意欲を高め、主体的に学習に取り組みやすい工夫が見られる。特に開隆堂については単元の活動目標により、学習への期待感を高め、単元チャートにより、ゴールまでの道筋が一目でわかるとともに、ストーリー仕立てが興味を引きやすく、単元割りには「CAN-DO チェック」を使って成長や課題の確かめ、ペーパーテストやパフォーマンステストの両面で確かめる工夫をしており、また単元ごとにイラストや写真を大きく使っており、語句や表現の意味、学習活動の内容などを理解する手がかりにもなっていることから開隆堂が良いと思う。

会 長／他の意見はないか。(なし)

これまでの審議の経過を踏まえて、外国語（英語）は開隆堂出版と決定することとしてよろしいか。(異議なし)

それでは、外国語については、全会一致で開隆堂出版の教科用図書を採択することと決定する。

【道徳】

◆委員長報告

委員長／道徳小委員会委員長の網走市立呼人小学校長の神田秀樹です。

道徳小委員会は、8名の調査委員で、7月5日に開催した第1回調査委員会以降、道教委発行の「採択資料」等を参考としながら、観点に従って調査研究を行った。

それでは、6社の「道徳」の教科用図書について、報告をする。

初めに東京書籍の「新しい道徳」から報告する。

発行者の特徴として、「取り扱い内容」と「使用上の配慮等」について申し上げる。

取り扱い内容の主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、教材の終末に「教材を通してみんなで考えたいこと」を示して、話し合い活動を通して、児童の対話的で深い学びを促している。また、「学習の記録」として自己の考えや思ったことを記入する欄が設けられており、道徳的価値を自分のこととして考えられるように工夫されている。

使用上の配慮等については、各教材のページに二次元コードが配置され、教材にかかわる動画や画像、思考ツールやデジタルノートにアクセスできるようにしており、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。

東京書籍の教科書の特徴は、学習意欲を引き出す写真と挿絵の採用、心の育成に焦点を当てた発問例、ICT機器の活用を前提とした教科書構成に顕著に表れていると小委員会では考えている。

その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に教育出版の「小学道徳」について報告する。

発行者の特徴として、「取り扱い内容」と「使用上の配慮等」について申し上げる。

取り扱い内容の主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、教材の冒頭に、道徳的価値についての問いかけを提示し、児童が見通しをもって学べるように工夫されている。また、教材文の結末をあえて明確にしない工夫などにより、児童の自由で多様な意見を引き出し、対話的な学びを促すように工夫されている。

使用上の配慮等については、各教材に「まなびリンク」と称した二次元コードが適宜配置され、教材の解説や関連図書を児童自らが活用できるようにしているなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。

教育出版の教科書の特徴は、指導時期を考慮した教材配列、日常生活へのつながりを意図した発問例異なる内容項目を組み合わせたユニット教材に顕著に表れていると小委員会では考えている。

その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に光村図書の「道徳」について報告する。

発行者の特徴として、「取り扱い内容」と「使用上の配慮等」について申し上げます。

取り扱い内容の主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、教材の冒頭に、児童に道徳的価値について問いかけるキャラクターを配置し、児童が問題意識をもって学習に取り組めるように工夫されている。また、「考えよう・話し合おう」では、他者との対話を通して、道徳的価値について深く考えることができるように工夫されている。

使用上の配慮等については、各教材に二次元コードが配置され、動画や写真など、児童の興味を引き出すコンテンツが用意されたり、思考ツールや役割演技の仕方について紹介したりするなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。

光村図書の教科書の特徴は、児童の体験を掘り起こす学びの準備のページ、実際の授業の流れに沿った発問例、学びの振り返りを促す学びの記録に顕著に表れていると小委員会では考えている。

その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に日本文教出版の「小学道徳」について報告する。

発行者の特徴として、「取り扱い内容」と「使用上の配慮等」について申し上げます。

取り扱い内容の主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、教材の冒頭に自己の生き方を問う発問が配置されており、児童が自分のこととして主体的に学習に取り組めるように工夫されている。また、別冊の「道徳ノート」に自分の考えや、友だちの考えを記入できるようにしており、対話を通して深く学んでいけるように工夫されている。

使用上の配慮等については、各教材のページに、二次元コードが配置され、動画等の資料が視聴できるようになっている他、心情メーターやシンキングツールを児童自らが活用できるようにしているなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。

日本文教出版の教科書の特徴は、別冊になっている道徳ノート、コンテンツの充実によるデジタル機器との親和性、いじめに関連する教材数の多さに

顕著に表れていると小委員会では考えている。

その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に光文書院「小学道德」について報告する。

発行者の特徴として、「取り扱い内容」と「使用上の配慮等」について申し上げる。

取り扱い内容の主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、教材冒頭に、道徳的価値について児童の体験や考えを問う発問があり、道徳的価値を自分のこととして考えられるように工夫されている。また、各教材に「考えよう」と題した発問例が記載されており、対話的な学びを通して児童の深い思考を促せるように工夫されている。

使用上の配慮等については、教材のページに二次元コードが配置され、教材にかかわる詳しい情報を得ることや補足の説明について動画を通して知ることができるなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。

光文書院の教科書の特徴は、思考ツール活用への配慮、重点主題と学年独自主題の設定、系統性を意識した現代的な課題に関する教材、児童の実態に合わせ活用する付録教材（40教材）に顕著に表れていると小委員会では考えている

その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

最後に学研「みんなの道德」について報告する。

発行者の特徴として、「取り扱い内容」と「使用上の配慮等」について申し上げる。

取り扱い内容の主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、教材冒頭に児童の問題意識や教材への関心を高めるキーワードを配置し、児童が主体的に学習に向かえるように工夫されている。また、各教材に「考えよう」と題した発問が例示され、対話をしながら、価値について多面的・多角的に考えられるように工夫されている。

使用上の配慮等については、教材のページに二次元コードが適宜配置され、関連する動画の視聴や、ワークシートへの記入など、デジタルコンテンツとの連携を図り、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。

学研の教科書の特徴は、最重点テーマを「いのちの教育」を土台とした教科書編成、教材への関心を高めるキーワード、系統的な情報モラルに関する教材配列に顕著に表れていると小委員会では考えている。

その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

各発行者の教科用図書については以上となる。

以上で、道德について報告を終わる。

（報告終了）

◆質疑応答

会 長／道德の調査研究報告について質問等はないか。

Q ／いじめは大きな課題となっているが、教材ではどのように扱われているか。

A / いじめの教材に関しては、各社とも現代的な課題の一つとして、ユニットを組んで扱っている。ユニットとは、複数の教材を連続させて、集中的かつ、多面的・多角的に学習できるように配慮された教材配列の仕方。例えば、読み物教材の後に、いじめに関するコラムを掲載し、別な角度から考えたりできるように工夫されている。出版社によっては、「友情」の教材と「善悪の判断」の教材というように、異なる内容項目の教材を組み合わせている場合もある。また、以前は低学年の教材は、登場人物の動物を通して考えさせる教材が多かったが、人間を主人公とした現実の場面を取り上げる教材が増えている。子供たちにより現実感を持って考えさせたいという各社の意図がうかがえる。さらに、いじめを単純に加害者、被害者の面から考えることのないよう、傍観者としての立場についても考えられるよう工夫されている。また、仲間外れや陰口など、従来のいじめ教材の題材にとどまらず、SNSを使いたいじめ、また、意図しないまま、結果的に相手を傷つけてしまう場合など、多様化するいじめの形態にも、各社の対応が進んでいる。

Q / 情報モラルについて、どのような内容を扱い教材が作られているのか。

A / 現代的な課題として、低学年から情報リテラシーにかかわる教材を扱い、系統的に情報モラル教育を進められるよう工夫されている。いじめと同じく、複数の教材でユニットを組んで集中的かつ多面的・多角的に学べるように配慮されている。従来は、ゲーム依存、インターネット依存、スマホ依存など、いわゆる「やりすぎて体調を崩してしまう」などの教材や、メールを通した言葉の行き違いによるトラブルなどの教材が多かったが、今回は、それに加え、「個人情報の漏洩」、「間違った情報の発信」、「著作権の侵害」、「いじめへの発展」など、より幅広く具体的な事例に基づいた教材が増えている特徴がある。

Q / 「多面的・多角的に考える育成」、「考え・議論する道徳」にするために、どう扱っているか。

A / 各社、教材文に書いてあることは問わないという姿勢が発問例からうかがえる。書いてあることを問うと、国語の発問と変わらなくなってしまうから。特に、「考えよう」「話し合おう」として例示されている発問は、答えが容易に見つからない、または答えが1つではない発問を意図的に配置しているので、児童の多面的・多角的な考えを引き出せるように工夫されている。また、「広げよう」「つなげよう」など、授業の終末においてさらに話し合わせたり、議論させたりする発問を例示している。「やってみよう」など、実践を意識した発問も散見されるが、「今日の学習を今後の生活に生かせるとしたらどのような場面でしょうか」などと、実践を意識させつつ、最後まで「考え、議論させよう」とする発問の工夫も見られる。

(質疑応答終了)

◆意見交換・採択協議

会 長／引き続き、道徳の採択の審議に入る。

● 各者とも使用上の便宜な内容の構成、排列などに大きな差は無く、工夫されているが、光村図書は言語活動において各学年に児童から考える吹き出しで深めていく様々な手立てを配置し、児童が多様な感じ方や考え方について接する中で考えを深め、判断し、表現できるように工夫されており、また各学年で学んだことを自分に引き寄せて考えたり、問題を解決するためにはどうすればよいかを考えたりするなど、自分との関わりで道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が使われるような工夫があることから光村図書が良いと思う。

● 各者とも学習意欲を高め、主体的に取り組む工夫が見られている。光村図書は各学年に期待感を持って学習に向かい、一年間の学習を見通すことができるような工夫や巻末に振り返りを記録する折込を配置して、自ら道徳性を実感したり、新たな課題や目標を持ったりするなど、学習意欲を高める工夫がされている。また各学年の冒頭に道徳の学び方のヒントなどを示したうえで、最初の教材の下段に具体的な場面ごとに気づいてほしいことや問いなどを配置するなど、道徳の学習を効果的に進めるために丁寧な導入への配慮があることから光村図書が良いと思う。

会 長／他の意見はないか。(なし)

これまでの審議の経過を踏まえて、道徳は光村図書と決定することとしてよろしいか。(異議なし)

それでは、道徳については、全会一致で光村図書の教科用図書を採択することと決定する。

(小休憩)

【特別支援】

◆委員長報告

委員長／特別支援小委員会委員長の湧別町立開盛小学校 校長 落合利広です。

特別支援小委員会は、3名の調査委員で、7月5日に開催された、第1回調査委員会以降、道教委発行の「採択参考資料」等を参考としながら、観点に従って調査研究を行った。

それでは9冊の一般図書について、報告する。

最初に「ふわふわちゃん おでかけ こんにちは」について申し上げる。

特徴としては、登場人物が動物に挨拶をする際、「こんにちは…」の続きが、ページをめくった先に表示されており、子どもが次のページを楽しみにしたり、動物の鳴き声などを模倣したりできるように構成されており、ページをめくると登場人物の表情や動きが変化するなど、子どもが場面展開の部分については興味を引くようなないようになっている。子どもがイラストに注目しやすいよう工夫することにより、興味を持ってストーリーの展開を楽しむ

ことができる本になっている。

次に、「手と手をつないで」について申し上げる。

特徴としては、登場人物が旅をする展開の中で、朝昼晩や四季の経過などの大体を捉えることができるように工夫されており、「のばしてごらん。」「あるいていこう。」「つくろうね。」など語りかけられるような表現により、子どものイメージが広がるようになっている。コラージュで作られた色彩豊かな挿絵にはいろいろな生き物や植物が描かれており、子どもが興味をもって読むことができるようになっている。

次に、「みんなのきもちがわかるかな？おもいやりの絵本」について申し上げる。

特徴としては、家族や友達と関わる場面や公共の場において、相手や他者の気持ちを考えた行動について学習できるよう構成されており、様々な場面や行動について、相手がどのような気持ちになるかが例示されており、子どもが相手の気持ちを想像できるよう工夫されている。場面や表情が分かりやすいイラストで示されており、子どもが相手の気持ちや場面を視覚的に理解できるようになっている。

次に、「音の出るとけいえほん いまなんじ？」について申し上げる。

特徴としては、分刻みに動かすことができるアナログ時計を操作することにより、時間の単位について理解することができるよう工夫されており、様々な生活場面に即した時刻を当てるクイズがあり、子ども自身が自らの生活と結び付けて理解を深めることができる。また、ボタンを押すことにより、音声で時刻を教えてくれたり、クイズを出題したりするなど、興味をもって取り組むことができるようになっている。

次に、「さわって学べる算数図鑑」について申し上げる。

特徴としては、数と計算の理解に必要な、数と数量の表示や図形の種類などを分かりやすく学べるよう構成されており、足し算、掛け算、分数、図形などをいろいろな種類の仕掛けを使って直感的に理解できるよう工夫されている。巻末のクイズでは、指で操作して答えを導き出すようになっており、意欲的に取り組めるようになっている。

次に、「うたってたたこう！わくわくりズムあそびどうようえほん」について申し上げる。

特徴としては、全14曲の童謡について、伴奏に合わせてカスタネットや鈴の音などを鳴らせることができるよう工夫されており、見開きで、曲をテーマにした挿絵が描かれ、歌詞は平仮名で書かれるなど、理解しやすいようになっている。曲に合わせ大きなボタンを同時に押すことで秘密のサウンドが流れたりし、子どもが楽しめるようになっている。

次に、「おとがなるしかけえほん はじめてのオーケストラ」について申し上げる。

特徴としては、「ハンガリー舞曲第5番」を演奏する管楽器や打楽器等の音色を実際に聞き比べたり、音合わせの説明から始めたりすることで音楽を形づくっている要素を理解できるよう工夫されており、説明は全て平仮名、楽器にも平仮名の振り仮名があり、子どもの読みやすさにつながっている。

軽く指で触れるだけで音が鳴る仕掛けは扱いやすく、最後は二次元コードを読み取ることで動画による演奏を聴くことができ、子どもの学習意欲が高まるようになっている。

次に、「親子で楽しんで驚くほど身につく！こども生活百科」について申し上げます。

特徴としては、食事や排泄、衣服の着脱、簡単な料理など、様々な日常生活場面の行動の仕方について学習できるよう工夫されており、様々な場面の生活動作が示されており、子どもの実態や興味・関心に応じて取り扱う題材を選定し指導できるよう配慮されている。日常生活場面での行動が簡潔なイラストで順番に示されており、子どもが視覚的に理解できるようになっている。

次に、「てあそびうた&ゆびあそびゲームタブレット」について申し上げます。

特徴としては、子どもになじみ深い曲が全30曲掲載されており、曲に合わせて手や指などを使って遊べるよう工夫されており、曲に合わせた手や指遊びの仕方が示されていることから、体を使って曲を楽しめるようになっている。じゃんけんや旗揚げゲームなど、ボタンを押して遊ぶゲームが6種類入っており、子どもが簡単な遊びを理解できるようになっている。

以上で、特別支援について報告を終わる。

(報告終了)

◆質疑応答

会 長／特別支援の調査研究報告について質問等はないか。

Q ／特別な支援または配慮が必要な子どもたちが使用する教科書については、障害の状態に応じて各教科の内容を取り扱うことが大切であるが、一般図書の場合は、この点についてどのような配慮がなされているか。

A ／一般図書は、障害の状態に応じて担任が150冊以上ある中から適切な図書を選択していくことになる。その際、系統的に編集されていること、教科の目標に沿う内容をもつ図書であること、上学年で使用することとなる教科書との関連性を考慮して選択する必要があります。今回、調査研究を行った9冊の図書の他にも、一般図書は多くの図書が選定されているため、各教科の取り扱う内容に応じて幅広い選択肢の中から選ぶことができるように配慮されている。

Q ／子どもの興味・関心をもたせ、学習意欲を高める工夫が大切であるが、一般図書の場合は、この点についてどのような配慮がなされていますか。また、どのような実態の児童が、この一般図書を使用することになるのか。

A ／学習意欲を高める工夫については、例えば、アイコンを触ることで音楽が流れる図書や、文字が少なく絵が中心の図書、大切な項目を簡潔にまとめ粹

で囲ってある図書など、障害の状態に応じて対応できる様々な工夫が見られる。また、シリーズとして系統的に作られているものもあり、次の本も読んでみたくなるような工夫も見られる。障害の状態や子どもの興味・関心に応じて学習意欲を高められるよう、配慮がなされている。どのような実態の児童が一般図書を使用するかについては、小学校及び中学校の特別支援学級で、特別の教育課程を編成し、教科により当該学年用の文部科学省検定済教科書を使用することが適当でない場合に、下学年用の教科書、文部科学省著作教科書、一般図書の3種類の中から、児童・生徒の障害の種類・程度、能力・特性に応じて選択し使用することになる。

(質疑応答終了)

◆意見交換・採択協議

会 長／引き続き、特別支援の採択の審議に入る。

- いずれの図書においても、学習のために障害の程度に応じた様々な配慮がされており、文字は大きく、絵は明るい色彩を用いたもの、写真やイラストを使ったもの、ルビ付きの文章のものなど、子供たちの興味・関心を引き付けるなど、とてもイメージしやすく学習意欲を高められるよう工夫された内容になっている。さらに主体的・対話的で深い学び、自立活動の視点を配慮した内容となっている。これらのことから、いずれの図書も有効に活用できることが期待できると考えられるため、すべての図書を採択することが良い。
- いずれの図書についても、調査研究報告のとおり、様々な配慮がされていることから、例えばボタンを押して音楽が鳴がれる仕組みや二次元コードを読み取って動画で演奏を聴くことができるなど、子供の興味・関心を引き付けて、とてもイメージしやすい内容になっている。今回の9冊全ての図書、有効に活用されることが期待できると思うので、全ての図書が採択されるべきだと思う。

会 長／他の意見はないか。(なし)

これまでの審議の経過を踏まえて、特別支援は全種を採択することと決定してよろしいか。(異議なし)

それでは、特別支援については、全会一致ですべての一般図書を採択することと決定する。

◆確認

会 長／以上で全教科、採択の審議が終了したが、確認のため再度採択結果を読み上げる。

国語は光村図書、
書写は光村図書、
社会は教育出版
地図は帝国書院、
算数は教育出版、
理科は東京書籍、
生活は教育出版、
音楽は教育芸術社、
図画工作は日本文教出版、
家庭は開隆堂出版、
体育は東京書籍、
外国語の英語は開隆堂出版、
道徳は光村図書、
特別支援については不採択が無いため、全種採択となった。

以上で、令和 6 年度から使用する第 9 地区教科用図書の採択を終了する。

事務局／以上で本日の協議会を終了する。

午後 3 時 30 分 閉会
